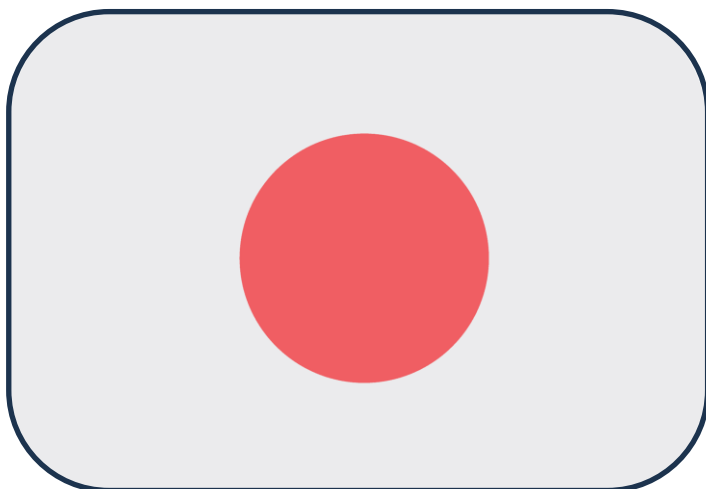


第2回インドCEO商談会2024

開催日程 2024年12月9日(月)~12月13日(金)



主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

目次

自動車・EV

001～

鉄道

013～

産業機械・ロボット

018～

建設・建機

037～

素材・化学

042～

食品・農業

047～

IT・サービス・消費財

050～

新規追加8社 (自動車・EV4社、産業機械・ロボット2社、
建設・建機2社)

056～

BIN001

インペリアル・オート・インダストリーズ

Imperial Auto Industries Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ファリーダーバード (ハリヤーナー州)

[他事務所] インド全土、ドイツ、メキシコ等

[HP] <https://www.imperialauto.in>

当社製品

- 設立年 : 1969年
- 資本金 : 25億5000万円
- 従業員数 : 15000名
- 売上高 : 624億円
- 事業内容 : 自動車部品製造販売
- 主要製品 : ホース、チューブ
- 取引先 : 車両メーカー等
- 国際認証 : ISO14001, 45001他
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、1969年に小規模企業として設立されたが、半世紀以上の歴史のなかで、現在では合併も含めグローバルベースに事業を拡大、インド全土並びに世界中に計25か所の拠点を有する企業に成長した。自動車用ホース、チューブ金属管といった、いわゆる液体伝達部品製造の分野でインドのリーディング製造企業でもある。技術者の能力と、製品の品質の高さが強みにて、汎用品のみならずカスタムメイドのソリューション対応ができる点も顧客から評価されている。最近ではハイブリッド車、EVの省エネ対策にも貢献している。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社製品製造に必要な原材料を日本から購入したい。詳細スペック、必要量については、商談会でお互いにニーズを確認したうえで、当社の購買チームに日本企業と改めて検討させていただきたい。原料を輸入したいと考えている商品は、アルミニウムチューブ、ACホース、スリーブ、ゴム製品、ステンレスチューブ、ブレーキチューブ等。当社は自動車メーカー向け中心に製造、販売する部品企業でもあり、最終製品の品質がメーカーの要求を満たすことが重要。

■ 合併会社の設立、共同開発・技術提携

製造技術の向上あるいは原材料の効率的な調達を目的として、日本企業との合併会社を設立したい。製造技術向上という視点では、特に工場の自動化、自動車業界における新製品の開発を進めたく、製品でいうとEV、水素自動車等に特に関心あり。合併を設立するうえで、当社が提供できる機能、強みは健全な財務状況、将来に向けた事業戦略、顧客ベース。出資比率等の合併詳細は、日本企業と議論のうえ決めたい。上記合併がすぐに難しいということであれば、技術提携でも構わない。日本企業との提携目的は基本的に同じで、R&Dも含めた技術支援、イノベーションを意識した商品開発における提携、特に技術提携の場合はHAVCの技術供与をいただくことに興味あり。



当社ポートフォリオ

BIN002

リッキ・プラスチック

Rikki Plastic Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ファリダーバード（ハリヤーナー州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.rikkiplastic.com>



当社製品群1

- 設立年 : 1999年
- 資本金 : 2400万円
- 従業員数 : 400名
- 売上高 : 19億5000万円
- 事業内容 : プラスチック射出成型
- 主要製品 : 自動車、二輪車部品
- 取引先 : 自動車、二輪車、建設機械メーカー等
- 国際認証 : ISO9001, 14001, 16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、設立後25年となる自動車OEM向けのプラスチック射出成型及びブロー成型製品の大手メーカー。現在3か所に合計15万平方フィートを超える生産エリアがあり、更なる生産拡張を目指し今後南インドに8万平方フィートの追加敷地を取得する予定。生産プロセスとしては、プラスチック射出成型以外に、液体溶接、超音波溶接、レーザープリンティングといった生産機能も保有する。現在世界中の主要な自動車メーカーにTier 1として製品を供給している。日本企業との提携により、既存、新規顧客への製品開発を希望する。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

当社は日本製のプラスチック部品または電装部品を購入しインドで販売したい。具体的な商品は、電気スイッチ、センサー、フィルタ、キャニスター、EV充電用アダプター、スマートプラグ、USBコネクタ、自動車用照明、LEDインディケータ、シャークフィンアンテナ、電子ハンドスロットル、ヒーティンググリップ、バッテリーボックス、バッテリー充電器等。当社と取引のある二輪、四輪、建設機械製造業に販売したい。

■ 共同開発・技術提携

当社はインジェクションモルディングの技術は社内に保有している。日本企業と技術提携では、自動車向け、あるいは消費財向けの部品組み立ての技術を供与いただき、インドでの製造分野の幅を広げると共に、新しい技術を吸収させていただきたいと考えている。技術提携により、低コストでの製造を実現し、北米への輸出も視野にいれたい。当社の強みは、質の高い開発、製造力。日本企業側に意向があれば、技術提携だけではなく、合併設立も検討したい。



当社製品群2

BIN003

ポリプラスチック インダストリー

Polyplastics Industries (India) Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ヤムナーナガル (ハリヤーナ州)
 [他事務所] 米国、ドイツ、ブラジル
 [HP] <http://www.polyplasticsindia.com/>



エンブレム

- 設立年 : 1967年
- 資本金 : 1億円
- 従業員数 : 2700名
- 売上高 : 150億円
- 事業内容 : 自動車用装飾部品製造業
- 主要製品 : エンブレム、ホイールカバー、ラジエーターグリル他
- 取引先 : 自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO16949、ISO27001、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドで自動車用装飾部品を製造する大手部品メーカーである。これまでインドの自動車メーカーだけでなく、日系、米系、欧州系自動車メーカーへの参入を果たして事業を拡大している。

現在 顧客の工場近郊に8つの工場を持ち、付加価値のある製品、サービス、革新的なソリューションを提供しており、社内には金型、治具、固定具を開発可能な最新工具施設や、Pro-E、Catia、UGなどの主要な3Dモデリングソフトウェアを装備した最先端の製造施設を有している。今後更に事業を拡大し、自動車部品製造のグローバルプレーヤーとなることを目指している。



フロントグリル

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

インドで今後成長が期待される電気自動車における重点分野、具体的にはADASシステム、バッテリーシステム、外装や内装の照明付きコンポーネントなどの新しい装飾技術などの分野で知見を持つ日本企業との商談を望んでいる。合併会社設立にあたっては資本注入、技術開発、長期的なパートナーシップの構築を日本企業に期待する一方で、インドにおける技術拠点の保持と収益の拡大、当社が持つ顧客に対するアクセスといったメリットを提供可能である。

■ 共同開発・技術提携

塗装、PVDコーティング、スクリーン印刷、レーザーエッチングの日本の専門企業との共同開発、技術提携を求めている。顧客が電気メッキ装飾から塗装、薄膜コーティング、フィルムベースのソリューションへと移行している中で、これらの技術について課題を抱えていることから、当社のパートナーとなる日本企業には専門技術の共有を期待したい。当社からは直接的なライセンス料の他、現在取引のある非日系カーメーカーが展開している欧州やブラジルといった地域への販路拡大の機会を提供可能である。



ガーニッシュ

BIN004

トリニティ・インディア・フォージテック

TRINITY INDIA FORGETECH PVT.LTD

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] プネー(マハララシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://forge-trinityindia.com/>



当社製品群 1

- 設立年 : 1974年
- 資本金 : 2億2500万円
- 従業員数 : 400名
- 売上高 : 67億5000万円
- 事業内容 : 熱間鍛造
- 主要製品 : 金属部品
- 取引先 : 自動車メーカー、機械メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

重量範囲0.5kgから50kgの熱間鍛造品および機械加工品を製造。フラッシュレス鍛造を導入しており、マイクロロイホイールハブ、スピンドル、フランジ、シリンダブロックなどの製品の品質に強みがある。Tier1サプライヤーとして日系を含め多くの現地自動車工場と取引実績を有する。また、直近では現地鍛造メーカーを買収して4000MTプレスにも対応可能であり、歯車ホブラインとリング転造工程および直接組み立て工程にも対応して新分野への展開を進めている。本商談会では、日本の鍛造メーカーや金属加工メーカーとの商談を通じて技術革新や市場拡大に向けたパートナーシップを構築したい。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本の鍛造メーカーや金属加工メーカーとの商談を希望。第3世代ハブ、歯車加工、高精度鍛造などの技術や効率的な鍛造プロセスについて関心が高く、これらの技術によりTier1としての自動車メーカーからの信頼を強固なものにしていきたく、技術提携について商談したい。

■ 合併会社の設立

上記の技術提携の延長線には、現地の日系企業への供給拡大に向けて当社と合併し幅広い製品を製造および供給する体制を構築することも商談テーマに含まれる。現在のTier1としての主要顧客はタタ、マヒンドラ、スズキ、日産、ボッシュ、フィアット、フォードなど。



当社製品群 2

BIN005

インディケーション・インスツルメンツ

Indication Instruments Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] フアリダバード (ハリヤーナー州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://veethree.in/>

7" Display (N76 Display)



Tooled samples under testing, expected to launch by Oct'24

2024年10月販売予定の
N76 ディスプレイ

- 設立年 : 1976年
- 資本金 : 1億875万円
- 従業員数 : 950名
- 売上高 : 52億5000万円
- 事業内容 : 自動車用電子機器の設計、製造、販売
- 主要製品 : ドライバー情報機器、燃料レベルセンサー、圧力センサー
- 取引先 : 自動車メーカー、建設機械メーカーなど
- 国際認証 : ISO9001、ISO16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はVeethree グループの一員で、米国 Veethree Electronics、英国 Cantronikも同グループに属する。トラック、バス、トラクター、建設機械 OEM 向けの自動車用電子機器の大手ティア 1 サプライヤーの 1 つである。自己資本比率73.8%の財務的に健全な経営を行っている。世界45か国以上で製品を販売すると共に、様々な国から年間約1,000万ドル相当の製品を購入し、日本の大手企業からSMTラインを購入した実績もある。新規顧客獲得を目指す国は、米国、ドイツ、イタリアである。今後は、5年間で売上を 倍増するため、様々な経営基盤の拡充を積極的に図る。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

ハイテク製品(ドライバー情報、計器クラスターとディスプレイやセンサー等)をスピーディーにインドの顧客に提供すべく、日本企業との合併事業を希望する。合併会社の投資規模は、30億円~45億円の範囲を見込み、協議により50:50で分割することも可能。現在1858㎡の製造スペースを持ち、高品質のハイテク製品を組み立てている。また、557㎡のエンジニアリング センターも有し、今後はバンガロール開発センターの追加し、エンジニアも 95 名から 300 名に増加、更に1858㎡の工場用地を追加取得する予定である。

■ 共同開発・技術提携

急速な事業拡大に伴い、ADAS 製品、LIDAR、ドライバー モニタリング システム、自動車用カメラ、インフォテインメント、電子制御ユニット、DEF 品質センサー、DEF レベル センサー、EV センサー、TPMS、ユーロ 6 センサーなどについて、基礎研究や設計、製品開発、試作の範囲において技術提携や共同開発を希望する。現在は、組み込みソフトウェア エンジニア、ソフトウェア テスター、ハードウェア デザイナー、機械エンジニア、グラフィック デザイナーが働いている。当社のエンジニアリング チームはブラック ボックス設計能力を備え、社内の信頼性テストラボによってサポートされている。



In Production since Apr'23

2023年4月より販売中の
カラーディスプレイ

BIN006

シュリー・ガネーシ・プレスNコート・インダストリーズ
Shree Ganesh Press N Coat Industries Pvt Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] オーランガーバード (マハーラーシュトラ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.sgpsc.co.in>



各種自動車部品

- 設立年 : 1999年
- 資本金 : 1700万円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 51億8500万円
- 事業内容 : 金属加工、機械製造
- 主要製品 : 自動車部品、電気制御盤、機械製品
- 取引先 : 自動車メーカー、ディーゼル発電機メーカー、電気制御盤メーカー等
- 国際認証 : ISO9100、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

板金加工、管状サブアセンブリ、粉体塗装、工具及び金型製造等のコア技術と製造システムを有するマルチドメイン企業である。当社は顧客の要望に応じて製品を設計、製造、供給するためのすべての高度な設備とインフラを備えており、自動車、電気、防衛、農業機械等の各産業分野、施設に対してサービスを提供している。現在は主力の自動車部品事業のみならず、電気部門、防衛施設、農業機械関連分野にも事業進出。更には電気自動車に加え、ペレット製造機のような再生エネルギー分野においても自社固有の製品の開発を進めている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

自動車関連、白物家電関連の分野で日本企業との共同開発、技術提携を希望している。特に板金プレス加工のさらなる技術向上を目指し、新しい材料や製造工程の開発、生産効率の向上、最先端のスタンピング技術の統合等に強い関心を持っている。この他にも新製品の開発、例えばブレーキシステム、サスペンションシステム、電子機器の開発等、日本企業との共同開発、技術提携により技術力及び市場競争力を高め、既存顧客だけでなく新規顧客に対するソリューションサービスプロバイダーとして事業拡大を目論んでいる。

■ 日本企業への生産委託

当社製品の生産委託を検討している。油圧・空気圧トグルクランプ関連メーカー、あるいはディストリビューターと商談を希望している。図面、仕様、製造工程等の必要な情報は共有されるが、その他独自製品群に追加して新たな製品を開発することに興味があるため、設計・開発能力、材料の専門知識、試作、試験と評価などの技術的な要件に加え、製造に関する工程設計等の専門知識を求めている。商談会では日本企業の持つ実力について議論したい。



各種自動車部品

BIN007

シプラ・エンジニアーズ

Sipra Engineers Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ナシック (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.sipra.in/>



ダイカスト製品

- 設立年 : 1979年
- 資本金 : 4900万円
- 従業員数 : 450名
- 売上高 : 21億円
- 事業内容 : アルミダイカスト製造業
- 主要製品 : 自動車部品、ポンプ、モーターハウジング 等
- 取引先 : 自動車、自動車部品メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO16949、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

1974年にインドで初めて日本製ダイカスト設備を輸入したアルミ高圧ダイカストメーカーである。以来 約半世紀に及ぶ歴史を持ち、現在はインドにおけるトップ10メーカーとしての強固な地位を確立している。当社はナシック、及びその近郊に2つの製造工場を保有し、年間約5000トンに及ぶアルミ合金を溶解、鋳造している。また金型製造からダイカスト、機械加工の一連工程をワンストップで行っており、製造品の7割はインド国内向け、残りの3割を米国および欧州向けに輸出している。今後3年間で2500トンクラスのダイカスト設備や横型マシンニングセンター向けに300万ドルを投資する予定である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

当社の事業と興味を持ち、インドでの事業成長に関心を持つ日本企業と合併会社設立を前提とした商談を希望している。当社は現在 中型の金型を製造しているが、今後更に大きなサイズ of 金型 (900トンから1600トンの鋳造機械用) を製造することを検討中である。これらは現在中国からの輸入に頼っており、今後自社での製造を実現するにあたり、特に高圧ダイカストの金型製造メーカーや工具製造メーカーとの商談を望んでいる。

■ 共同開発・技術提携

昨今のグローバル経済の状況から、当社は現在 北米市場や欧州市場向けのダイカスト製品の更なる輸出拡大を目指している。その際課題となってくるのが、製品の部品点数や重量を削減するためのコンポーネントの再設計であり、更には完成品の品質及び技術力の向上である。そのため日本のアルミニウム鋳造事業者、高圧、低圧金型の製造業者との共同開発・技術提携を望んでいる。当社のパートナーとなる日本企業は高成長を続けるインド市場への参入機会と成長を同時に得ることが可能である。



ダイカスト設備

BIN008

ボルカ・ファブコンズ

BHORUKA FABCONS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] マイスール（カルナータカ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.bhorukafabcons.com/>



自動車向けアルミ製品
 (ルーフレール、その他内外装)



鉄道車両向けアルミ製品
 (壁面、窓枠、その他内外装)



産業用機械向けアルミ部品

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 8億6000万円
- 事業内容 : アルミニウム製品の製造販売
- 主要製品 : 鉄道車両・自動車ボディ、産業用機械その他各種産業向けのアルミニウム加工品
- 取引先 : 鉄道車両・自動車メーカー、産業用機械メーカー等
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

アルミニウム加工を専門とし、鉄道、自動車/EV、エネルギー関連、産業用機械等の各種産業向けにアルミニウム加工製品を製造販売する企業。

アルミニウム製品について、設計、試作から切削、成形、曲げ、溶接、接着、コーティングといった各種加工および組立、検査まで、あらゆる工程を手掛けることができる。このように一貫した包括的なサービスにより、幅広い分野、業界の多くの顧客に対して、高品質なアルミニウム製品を供給している。

市場としては主にインド国内の顧客を対象としているが、一部輸出も行っており、また日本企業との取引、協業の経験もある。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

自動車やEV用に今後需要が見込めるアルミニウム製品を新たに開発製造するため、日本企業との共同開発・技術提携について商談を行いたい。

具体的に関係製造を想定しているのは、自動車のルーフレールや自動ドア、EV用バッテリーケース等に向けた特殊な加工を必要とする製品であり、「冷間引抜加工」、「引張曲げ加工」、「摩擦攪拌接合」、「その他新たな溶接技術」、「押出成形の精度向上（より精密な公差への対応）に必要な技術」のような加工技術を日本企業から導入したいと考えている。

BIN009

トランスボルト・モビリティ

M/s. Transvolt Mobility Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://transvolt.in/>



同社が運用するEVバス1

- 設立年 : 2023年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 144名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : EV運用サービス業 (EVバスサービスの運営)
- 主要製品 : EVバス運行システム
- 取引先 : 地方自治体、運送サービス業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

EVプラットフォームを担うスタートアップ。EV車両メーカー、充電設備メーカーなど協力して事業を推進。自社で車両を所有し輸送サービスを提供。現在では国内の2つの市営公社で77台のEVバス運行事業に従事し、港湾でのEVトラック運行も大手船会社と協議中。既に様々な個人、企業から出資を受けているが、2024年5月にはIFC (世界銀行グループの国際金融公社) から3年間で6億ドル、EV 8000台分の協力契約を締結した。当商談会では、EV用のBMS (バッテリーマネジメントシステム) の調達や共同開発について商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

EV用のバッテリーに関する多様な目的で調達可能性を商談したい。例として、電力消費を抑え、長寿命を保って当社輸送システム全体の効率向上に貢献できるバッテリーや、その測定、分析を行えるBMS (バッテリーマネジメントシステム) に対する関心が高い。日本からの調達のみならず、将来的なインドでの電池、バッテリーの製造についても現地パートナーを交えて進めたく、合併に向けたきっかけづくりとなる商談ができるとなお良い。



同社が運用するEVバス2

BIN010

ハイコン・インド

Hykon India Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] トリッシュール（ケーララ州）

[他事務所] バンガロール・チェンナイ等、インド

[HP] <https://www.hykonindia.com>

[会社概要]

当社はインドでのインバーター製造のパイオニアであり、その後製品を拡大、UPS、リチウムイオン電池、太陽光発電などパワーエレクトロニクス製品を専門とする企業として成長、2021年に電動三輪自動車の生産を開始、電気自動車業界にも参入した。全国に14の営業所をもち販売は全土をカバー、国内で確固たる存在感を示している。品質・革新・持続可能性をコミット、統合品質管理を強みとして、1997年にはNational Award for Qualityを受賞。今回は電動三輪自動車のみならず、蓄電システム、リチウムバッテリー、UPS等で日本企業との技術提携を希望している。

- 設立年 : 1991年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 450名
- 売上高 : 1億8000万円
- 事業内容 : パワーエレクトロニクス製品
製造・販売業
- 主要製品 : UPS、電動三輪自動車
- 取引先 : 国防省、教育省等政府機関
- 国際認証 : ISO9001, 14001
- 日本企業との取引経験 : ー

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

電動三輪車に搭載する永久磁石同期型モーター（PSMSモーター）、高周波トランス、手押し電動芝刈り機について、日本製品の購入を検討している。

■ 共同開発・技術提携

電動三輪車に搭載する永久磁石同期型モーター（PSMSモーター）、高周波トランス、手押し電動芝刈り機に係る製造技術について、日本企業との技術提携を期待している。

生産についても、CKD供給当社工場による現地生産を柔軟に検討したい。当地生産の場合、製品は日本企業のブランドでも、当社のブランドでもどちらでも構わない。当社の強みは33年にわたるインドでの実績、それによって構築された技術とマーケットに関する知見、低コストによる生産技術。日本企業との提携によって生産した商品は輸出も検討する。また将来は日本企業との合併も検討可能。



電動三輪自動車



リン酸鉄リチウムイオン電池

BIN011

ヴィシュワディープ・エンタープライズ

Vishwadeep Enterprises

[参加予定者] 取締役
 [本社] プネー(マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] www.vishwadeep.net



シート部品

- 設立年 : 2006年
- 資本金 : 3537万円
- 従業員数 : 45名
- 売上高 : 2億7800万円
- 事業内容 : 金属部品プレス加工
- 主要製品 : 自動車部品 (シート、荷物固定締め具等)
- 取引先 : 自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は自動車部品を中心とする金属部品加工会社で主にプレス加工を得意とする。トラック等の荷物固定締め具や座席の高さ、位置調整用機器全般、車軸用オイル漏れ防止部品、ショックアブソーバー用ブラケット等部品、冷却システム、燃料供給システム、及び排気システム用筒状部品、エンジンマウント用ブラケット等を製造している。上記に特徴的な金属深堀加工に対応できる加工機械を取り揃え、自動車部品に必要とされる精密で強靱な金属加工部品を製造し、インド有数の4輪、から2輪車両メーカー向け供給を行っている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本メーカーから技術導入したいのはシート位置調整の自動化技術。小型モーターによる自動位置調整システム全般(高低、前後調整等)である。また自動化にともなうサスペンション等部品開発も課題で、日本メーカーの最新技術導入を検討したい。また、新技術に対応するテスト機器や設計、デザインも含め、日本メーカーの最新技術を学びたい。技術提携の方法には柔軟に対応できるので、インドマーケット参入希望の日本メーカーの協力を期待したい。



荷物固定用締め具

BIN012

JMD インダストリーズ

JMD INDUSTRIES

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] アウランガーバード（マハーラーシュトラ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://jmd.industries/>



当社製品 1

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 7168万円
- 事業内容 : 金属加工業（電気メッキ、陽極酸化、化学仕上げ）
- 主要製品 : ブレーキディスクパッド用メッキ済金属部品
- 取引先 : 二輪車部品製造業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

Bajaj Autoに10年間在籍後、現社長が2019年に立ち上げた新興企業。金属メッキ事業を主としてつつブレーキホースパイプの組み立て事業にも従事。金属メッキ業では二輪車向けブレーキディスクパッドの供給を2025年1月から正式に立ち上げる予定で、事業開始にあたって日本の材料や設備を使って信頼性の高い事業を行っていききたいとの意向が強い。
 本商談会では、二輪車部品向け金属メッキ事業における品質課題の解決に向けた資機材の調達や技術連携について商談を行いたい。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

10~12ミクロンの銀メッキ厚を維持するための（部分メッキ時の）マスキングの手法や、10~12ミクロンの厚さを常時達成するための添加剤について関心が高い。他にも後工程での洗浄や研磨も含め、材料、設備などを日本から調達し、事業立ち上げ時から高品質を達成したい。
 また、低コスト製造を実現するため塗装、乾燥、研磨、仕上げ、ショットブラスト工程の自動化を実現する設備や機材も提案いただきたい。ただし製造工程には十分なマンパワーがあるためシステムを用いた先端的な無人化までは求めていない。メーカーのみならず商社も商談対象。

■ 共同開発・技術提携

二輪モーターサイクル用ブレーキディスクパッドのメーカーとして、顧客（エンデュランステクノロジーズ社）を通じて各社に製品を供給していく。耐熱塗装仕上げの向上とブレーキ寿命の向上に重要な接着強度（UTM）の2つの観点から、製品の総合的な品質改善に向けて技術的に協業いただける同業界の企業との商談を希望。



当社製品 2
 （色と肉厚異なる）

BIN013

パティル・レール・インフラストラクチャー Patil Rail Infrastructure Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ハイデラバード（テランガーナ州）
[他事務所] デリー
[HP] <https://patilgroup.com/>



高速鉄道用軌道構築

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 4億3500万円
- 従業員数 : 1100名
- 売上高 : 268億2500万円
- 事業内容 : 鉄道関係インフラ設備
- 主要製品 : 鉄道軌道一式、枕木、レール、架線等
- 取引先 : インド国鉄等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

当社はもともと1933年インド中部（グルバルガ）にて豆類の商売をはじめ、その後セメントパイプや鉄道用枕木製造を通じて現在に至るインド国鉄との関係を構築した。30年以上にわたるインド国鉄との関係は主に枕木供給によるものから始まるが、現在ではコンクリート枕木用鉄筋、鉄道レールの固定具、送電線、またレール溶接等、鉄道システム全般に関わり、鉄線供給を中心に運送事業一般を支える会社となっている。最近では鉄道運航のデジタル管理（保守点検中心）にて欧州メーカーとの技術提携を進めており、インドの近代都市交通全般に関わる。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

鉄道送電用高磁誘導・高張力鋼やバネ用鋼線の扱いを通じて日本の最新鋭鋼鉄製造技術に接してきた経験から、現在事業多様化の一環として注力している自動車用バネ、ショックアブソーバーに代表される製品には日本の技術が欠かせない。この分野における技術指導、技術提携を行う日本のパートナーを探している。インド国内で今後飛躍的な伸びの期待できる高機能鉄線、同加工分野でインド進出に興味あるメーカーとの話し合いを期待している。

■ 合弁会社の設立

上記技術提携から開始してゆくゆくは、自動車用バネ材（各種サスペンション、スポーク等）、鋳造品加工の合弁会社を立ち上げてインド市場における基盤構築したい。



鉄道用枕木

BIN014

サリタ・フォージング

SARITA FORGINGS LTD.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ルディヤーナー (パンジャブ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <http://www.saritaforging.com/>



スクリューカップリング
(連結器)

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 7500万円
- 従業員数 : 325名
- 売上高 : 2億円
- 事業内容 : 鉄道車両部品の製造販売
- 主要製品 : 鉄道車両及び台車の金属製部品
- 取引先 : 鉄道、自動車、農業機械等のメーカー
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 無

[会社概要]

主として鉄道車両および台車（ボギー台車）の金属部品の製造販売を行う企業。鍛造、鋳造を中心に、その他加工、組立工程を有し、また鉄道車両関係の他には、鋳業・農業機械や自動車部品等も手掛ける。同一施設内に、鋳造、鍛造から各種金属加工、ゴムと金属の接合工程等をすべて備えた数少ない企業のひとつである。機械加工設備についてもCNCを初め各種備えており、また各種分析・検査についても自社で必要な装置を保有し対応している。製品についてはインド国内での販売を中心とするが、一部ヨーロッパへの輸出も行っている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

鉄道車両台車（ボギー台車）の完成品、あるいは高速鉄道の軌道インフラ関連製品等を、インド現地で開発、製造、販売するための合併会社設立について、日本企業との商談を行いたい。日本側パートナーとしては現に鉄道関連部品等の製造販売に携わっている企業を希望している。

合併設立にあたっては、土地建物、設備等のインフラは当方より提供し、必要な技術を日本のパートナーから導入することを想定している。

日本のパートナーとしては既に当該の鉄道関連分野に必要な技術、知見を有している企業を希望している。なお当初は技術提携から始め、関係強化に伴って中長期的に合併に発展させるとのシナリオも議論し得る。

■ 共同開発・技術提携

インド鉄道向けの鉄道車両および台車の部品について、日本企業との技術提携により製造販売を行いたいと考えている。具体的にはブレーキディスクシステム、AAR-Hタイプの連結器、空気バネといった製品に特に関心があり、インド鉄道省研究設計標準機構(RDSO)の規格に適合するために日本からの技術を導入したい。提携先としては、これら鉄道関連部品等の製造に必要な技術・知見を有する企業を希望している。なお当初は単なる製品輸入（代理販売）から開始し、技術移転に伴って現地製造に移行していくとのシナリオも議論可であり、更に中長期的には合併に発展させていくことも展望し得る。



アンチロールバー
(ボギー台車の下部フレーム
に使用)

BIN015

レジストフレックス・ダイナミクス

Resistoflex Dynamics Pvt Ltd

[参加予定者] 取締役

[本社] ノイダ (ウッタル・プラデーシュ州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.resistoflex.in/>

エアサスペンションシステム

- 設立年 : 2005年
- 資本金 : 2000万円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 18億3000万円
- 事業内容 : 振動コントロール部品製造、システム開発
- 主要製品 : エアスプリング、バイブレーションマウント
- 取引先 : インド鉄道関連事業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は前身から数えると80年の歴史をもつ。振動、衝撃、地震に関する制御システム、部品の製造を生業としてきた。特にインドにおける鉄道、防衛における新製品開発の先駆者にて、エアスプリング、バイブレーション・ショックマウント、反地震隔離装置等が主要製品となる。特にこの30年間では、インド鉄道に対するエアスプリングとゴム金属接着装置の主要サプライヤーとなっており、また高速鉄道用エアスプリングはインド鉄道の試作試験でも承認されている。新商品として鉄道用ホームドア、鉄道自動ドア等を考えており、日本企業との提携を検討したい。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社が日本企業との技術提携で開発・製造したい製品は鉄道用ギャングウェイ（車両同士を結ぶ通路）、鉄道プラットフォームのスクリーンドア、鉄道用自動スライディングドア。特にこの分野で設計・開発・製造に実績のある日本企業と提携したい。当社は、鉄道用スプリング組み立て、ゴムとの接合金属部品でインド鉄道関連、国防省、その他重工機器製造企業に実績あり、信頼を構築しているのが強み。日本企業とも提携を通して長期的な関係を構築したい。

■ 合併会社設立

上記技術の供与、資金面で協力頂くこと、関係基盤の更なる強化を視野にいて、合併会社の設立も検討したい。合併会社の目的は、上述の技術提携と同じ。設立場所は首都デリーの近辺。資本金は各々がUS\$15百万円拠出、出資比率は50:50を考えているが、もちろん日本企業の意向を踏まえて決定したい。上述のように顧客との関係基盤をベースにした販売ネットワークが当社の強みで、インド国内での販売拡大を目指した合併会社としたい。



バイブレーションコントロール、ショックマウント他

BIN016

パイオニア・ナット & ボルト

Pioneer Nuts & Bolts Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ルディヤーナー (パンジャブ州)
 [他事務所] デリー
 [HP] <https://www.tuffbolt.com>



六角ボルト

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 3230万円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 7億4000万円
- 事業内容 : 金属加工業
- 主要製品 : 各種ボルト、ナット等
- 取引先 : 自動車メーカー、鉄道メーカー、その他製造メーカー
- 国際認証 : ISO9001、45001、17025
- 日本企業との取引経験 : 有



ワッシャー

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

鉄道事業において、インド国鉄や各地都市交通事業者との取引関係が深く、すでにインド新幹線プロジェクトにおける各種金属留め具供給において認定メーカーとなっている。日本の優れた金属留め具を同上鉄道プロジェクト用に推奨できることはもちろん、インドのコスト競争力を利用した技術提携も可能である。特に、貨物固定用カプリング装置（トウイストロック）、自動ドア開閉装置、火災検知器等の分野での技術提携、共同開発に興味がある。

■ 合併会社の設立

自動車用、風力発電用、鉄道機関車用に代表される最先端の特殊用途に使用される金属留め具に日本の会社と合併で本格参入し、業界における将来的な足場を固めたい。今後伸長が約束されている電力、インフラ関係建築、運送、宇宙航空等、各先進業種に向けた供給を通じてさらに当社金属締め具の品質信頼性を高めたい。

■ 日本企業からの生産委託

同上日本メーカーとの関係構築をもとに、日本メーカーからの製造受託も期待している。

[会社概要]

当社はボルト、ナット、ワッシャー等、機械、構造物の固定用金属留め具を製造販売している。選ばれた高張力鋼を原料に寸法安定性、耐久性、耐食性等の特殊強度をも実現した確立された信頼性で、重工業、石油精製、自動車産業、航空宇宙産業、各種運送業、建設業、電力事業等に至るあらゆる鉦工業、産業分野にて使用実績を誇るもの。最近では特に高速鉄道、都市鉄道網、橋梁建設、原子力発電所における精密かつ、耐久性や耐食性等すべての物理的、化学的強度を要求される用途においても採用例が増えており、広く顧客からの信頼にこたえている。



シャフト

BIN017

ビクター・ケーブル・コーポレーション

VICTOR CABLES CORPORATION LTD

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ニューデリー

[他事務所] ー

[HP] <https://www.victorcables.in/>

Victor Cables

for



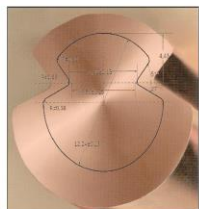
CONTROL CABLES



INSTRUMENTATION CABLES



FIRE SURVIVAL CABLES



JOINTLESS GROOVED CONTACT WIRES

Victor Cables
technology to the Core

各種ケーブル

- 設立年 : 1955年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : ケーブル、ワイヤーの製造販売
- 主要製品 : 鉄道架線用ケーブル等
- 取引先 : 鉄道会社
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

ケーブルの製造販売におけるインドのリーディング企業。鉄道架線・トロリー線用ケーブルを主力に、信号用ケーブルやコントロールケーブル、計装用ケーブル等を製造販売するほか、顧客の要望に応じカスタマイズされたケーブルも提供している。また近年では高機能、高付加価値の高速鉄道向けケーブルや海中ケーブルといった分野に進出している。

海外企業との提携等による新技術の導入に積極的であり、インドにおけるケーブル産業の先駆者としての実績を重ねてきている。また原材料、製造工程、更に最終製品の各段階で厳重な品質管理と検査を行っており、製品の品質と信頼性の高さで評価を得ている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

鉄道用ケーブルや架線関連の電気設備・装置の製造販売に携わる日本企業と、共同開発、技術提携に向けた商談を希望している。特に、インドの高速鉄道に関する日印の共同プロジェクトに鑑み、高速鉄道向けの高付加価値ケーブルの開発、製造に高い関心があり、関連分野において高度な知見および技術を持つ日本企業との商談を歓迎したい。また、単なる技術提携にとどまらない合弁会社の設立や、また中東、アフリカ向け輸出を想定したインドでの現地製造に興味のある日本企業との議論も可能である。

BIN018

NMトロンクス (インディア)

NMTronics (India) Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ノイダ (ウッタル・プラデーシュ州)
 [他事務所] ー
 [HP] www.nmtronics.com



プリント基板実装機

- 設立年 : 1999年
- 資本金 : 14億5000万円
- 従業員数 : 380名
- 売上高 : 116億円
- 事業内容 : 自動化装置の製造、販売
- 主要製品 : 自動化機械
- 取引先 : 半導体表面実装機器メーカー各社
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は電子機器メーカー向け、自動化装置の設計、製造会社である。半導体表面実装機器の設計、販売が大きく日本の大手SMT（表面実装技術）メーカーのOEMサプライヤーとなっていて、米国、韓国、台湾、イタリア、ドイツ等のプリント基板組み立てメーカー向けにトータルソリューションとして検査機器（自動光学検査機）等も併せて提供している。

最近では、太陽光発電やEV関係モジュール、半導体製造、及び自動搬送機分野に多様化を図っており、より高度な生産技術、素材分野の研究、効率化、省人化、自動化に取り組んでいる。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

次世代戦略技術部隊を立ち上げており、社内のインキュベーター組織的な位置づけとしている。AMRを中心とする搬送機開発に取り組んでいるが、ソフトウェア開発では次世代AMRに関わる優秀なエンジニアがそろっている。但しハードウェア構築に関わる分野が弱く、まずは日本のAMRに関する代理店販売から開始して、徐々に組立、製造分野にも進出する土台としたい。

■ 共同開発・技術提携

多様化分野である太陽光発電（セル）やEV関係モジュール生産における日本メーカーとの技術提携に興味がある。素材組み合わせや効率化技術、ブラッシュレスモーター等。及び半導体生産における積層技術に代表される重層化技術一般について技術提携、技術移転を希望する。将来的には合併会社を設立して共同経営することを目的にMake in India政策の元、日本メーカーとのパートナーシップ構築が一番の目標である。



高効率太陽光パネル

BIN019

カンチャン・メタルズ

Kanchan Metals Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ノイダ (ウッタル・プラデーシュ州)
 [他事務所] 州内各地
 [HP] <https://snackfoodmachines.com/>



スナックフライヤー

- 設立年 : 1984年
- 資本金 : 6億8200万円
- 従業員数 : 350名
- 売上高 : 29億円
- 事業内容 : 食品加工機械製造販売
- 主要製品 : 食品加工機械
- 取引先 : 菓子メーカー、
加工食品メーカー
- 国際認証 : ISO9001、22000
- 日本企業との取引経験 : 有



ポテトクッカー



クリームミキサー

[会社概要]

インド有数の食品加工機械メーカー。加工機械全般の製造に従事するが、世界各国の有名食品加工機械メーカーのインド販売代理店でもある。欧米企業のみならず日本の有名加工機械メーカーの代理店でもあり、インスタントラーメン、菓子加工機、コーティング、調理窯、蒸し菓子用機器、包装機械、衛生管理用機器等、幅広く取り扱いがある。現状、自社生産より輸入販売の比率が高く、メンテナンス等のアフタケアもきめ細かく行う。スナック菓子や、菓子パンを含むベーカリー全般、揚げ物、冷凍食品等、食品加工機器全般にわたる製造、販売、サービス提供を行っている。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本の先端加工機械、特に連続フライヤー、個別急速冷凍機（スパイラル式、ブラスト式）、ベーカリー用（菓子類、菓子パン）生地ミキサー、クリーム注入、オーブン等、種々加工機械の代理店販売を希望する。

また冷凍食品製造ライン一式、食品フォーミング、コーティング、生地精製、揚げ加工、急速冷凍までの加工冷凍一貫ラインに興味ある。昨今インドでも冷凍食品需要が高まっており、消費量は飛躍的に伸びることは間違いない。加工機械以外では、フローラッピングに代表されるフィルム包装機器（特にベーカリー用）、および衛生管理機器全般、工場全体の衛生維持、清掃等に係る機器に興味がある。

■ 共同開発・技術提携

インドの加工食品多様化に対応するには、自社開発のみならず多様なアイデア、技術的背景がないと後手に回る可能性が高く、今後急速な伸びが期待されるマーケットに対応するための技術パートナーとなる日本企業に興味がある。提携の形にはこだわらず、ライセンス契約、共同開発、どんな形式でもインドマーケットに対する新たな挑戦を一緒にできる日本企業を歓迎する。

BIN020

シュリ・ベンカテッシュ・ポリモールド

Shri Venkatesh Polymould Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] アウランガーバード（マハラシュトラ州）

[他事務所] ー

[HP]ー



エアコン、洗濯機、エアコンの製品ポートフォリオ



射出成形機を備えた製造現場



エアコン室内ユニット (IDU) の組み立てライン

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 1億50万円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 27億4500万円
- 事業内容 : 家電製品製造業
- 主要製品 : 洗濯機、エアコン、クーラー、自動車部品等
- 取引先 : 家電メーカー、自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001、BIS認証
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、インド全土における家電製品、自動車業界の有名ブランド製造業者に提供する大手プロバイダーである。立地するマハラシュトラ州アウランガーバードは、北インドと南インド双方に対応可能な中央に位置し、インドで確立された成長を続ける製造拠点である。当社は、輸入品、インド国内生産品の両方に適用されるBIS認証も取得している。当社は業界で20年以上の経験があり、有名ブランドのワンストップショップとして市場で地位を確立している。常に最先端施設を整備し、今後インドに進出する日系大手自動車メーカー向けに更に設備投資し、求められる要件を満たす為に日本の中小企業と提携する必要があると考え、商談会に参加する。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

新製品ライン用に、250～600トンの射出成形機、AC製造用の完全なターンキー組立ラインソリューションを5～8台、早期に購入したい。生産量の向上、損失の削減に役立つ新技術、製品、製造方法を模索する為であり、技術指導も含む。現在の稼働効率は95% だが、更に改善し、欠陥のない生産の為にシックスシグマを導入したい。改善範囲は、ロス削減する材料処理の自動化、組立ラインの効率向上等である。

■ 合併会社の設立

BLDC（ブラシレス）モーター、AC IDU（イン・ドア・ユニット）およびODU（アウト・ドア・ユニット）の製造/組み立て、その他の自動車用電気部品、消費者向け電子機器、家電製品等を製造する技術力を持つ企業との提携を希望する。インド市場では消費者支出が増加傾向で、同業界でのマーケットリーダーになることを目指し、将来的には合併会社の設立を視野に入りたい。

BIN021

ラマニ・プレジジョン・マシーンズ

RAMANI PRECISION MACHINES PVT. LTD

[参加予定者] 代表取締役

[本社]モハリ (パンジャブ州)

[HP] <https://www.ramaniprecisionmachines.com>

部品取り付け用機械



製造ラインの一部

- 設立年 : 2003年
- 資本金 : 1700万円
- 従業員数 : 98名
- 売上高 : 7億6500万円
- 事業内容 : 製造用機械の開発、設計、製造
- 主要製品 : 自動車製造機械、電気製品製造機械、自動化ライン用組み立て機械等
- 取引先 : 自動車メーカー、電気機械メーカー等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は精密機械製造メーカーで、自動機器、加工機器等、自動車および電機メーカー等製造業の要望に従い、製造用機械の開発、設計、製造、設置まで一貫して請負う。生産の自動・省人化に伴う、ライン設計、マテハン機器、AGV等の最新機器の設計・製造、EV組み立て機械、電池製造用機械等、最先端産業の製造ライン設計、製造に関わり、インド国内のみならず、欧州、米州、日本含む、世界中の製造業から受注実績を誇る。ファミリー経営にて生産規模を一気に拡大できず、最近は人員不足が一番のネック。オーナーは1985年に日立製作所とインド法人立ち上げに関わり多くの日本企業との商売経験あり、更なる協業を希望している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本の特殊機械製造会社との共同開発、技術提携、そして近い将来のJ/V設立までを前提として、自動化製造機械をインドで販売したい。FAに関連する機器・部品、マテハン機器、ロボット（AGV等）、また、自動販売機、食品加工機、医療器械等、日本のすぐれた最先端機器の販売を行いたい。同上機械メーカーでインド市場に興味のある会社との商談を希望する。

■ 合併会社の設立

上記過程を経て日本企業との合併会社をインドに設立して、日本の生産技術を人的な交流を通じて本格的に導入したい。当社には既に日本の製造品質基準を熟知したエンジニアが揃っており、日本の技術があれば、インドの安い製造コストと相まって、世界有数の競争力をもった機械製造会社がインドに定着する。

■ 日本企業への製造委託

製造ライン自動化に関わる部品メーカー、及びマテハン等自動搬送機メーカーで輸出に興味のあるメーカーと委託生産の商談を希望する。

BIN022

ストラテジ・オートメーション・ソリューションズ Strategi Automation Solutions Pvt. Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] マイスール工場、他国内3営業拠点

[HP] <https://strategiautomation.com/>

マシンテンディング用
ロボット

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 4000万円
- 従業員数 : 70名
- 売上高 : 3億1000万円
- 事業内容 : 産業用ロボット、工程自動化システムの製造および流通販売
- 主要製品 : マシンテンディング用ロボット、モーションコントロール機器
- 取引先 : 自動車、産業用機器、包装、食品加工等の各種メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドにおいて28年の歴史と経験を持つ、産業用ロボットおよび工程自動化システムのメーカー、ディストリビューターでありシステムインテグレーター。

自社ブランドで産業用ロボット等の設備機器を製造販売し、また顧客ニーズに応じた自動化ソリューションを提供するとともに、モーター等の動作制御（モーションコントロール）機器に関しては一流メーカー製品の流通販売およびシステムインテグレーションを行っている。

開発設計から製造、据付、アフターサービスまで幅広い強みを持ち、イノベーションの追求と顧客本位の事業展開により、インド全国に幅広い産業・分野の顧客を持つ。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

モーターやマシンビジョン等のモーションコントロールに必要な製品のインド市場での販売を目的として、日本企業と商談を行いたい。既にパナソニック、日立等の日本の代表的なブランドの代理店として販売を行っているが、今後更に取扱製品の幅を広げていきたいと考えている。具体的には、印刷・包装向けBLDCモーター、オフロードEV向けモーター、半導体産業向けリニアモーターといった製品に特に関心がある。

■ 合併会社の設立

インドにおけるマシンテンディング用ロボットの開発製造に向けて、関連する先進技術を有する日本企業との合併設立を希望している。合併を通じてCNC加工機（垂直、横型）や冷間・熱間鍛造設備、射出成形機等に向けたマシンテンディングの分野に製品ラインアップを拡張していくことを主な目的としており、設立場所はバンガロールを想定している。また、合併以外に技術提携についても議論が可能である。

■ 共同開発・技術提携

プリント回路基板や半導体の製造あるいは検査に必要な設備機器について、日本企業との技術提携を希望している。既にインド企業に進出しており営業やサービス等についての現地パートナーを必要としている中規模の企業が望ましい。またこうした提携関係が将来的に合併・現地製造に発展する可能性も展望している。



パレタイザー

BIN024

プロマン・インフラストラクチャー・サービス

PROMAN INFRASTRUCTURE SERVICES PVT LTD

[参加予定者] 取締役
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.promaninfi.com/>



当社製品
 (垂直シャフトインパクト)

- 設立年 : 2001年
- 資本金 : 1680万円
- 従業員数 : 300名 (グループ計)
- 売上高 : 25億2000万円 (グループ計)
- 事業内容 : 産業機械製造業
- 主要製品 : 粉砕機、ふるい、選別機等
- 取引先 : プラント、鉱山、鉄・セメント産業等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

粉砕、選別、モルタルミックス、資材リサイクルに用いる産業機器を鉱山、土木などの現場に提供。砂、鉄鉱石、ドロマイト、石灰石、ボーキサイト、鉄鋼スラグ研磨材などの基礎産業における破砕や選別ノウハウと技術に強みを有する。設備製造、設計・エンジニアリング、施工管理、アフターサービスに一貫して対応することでトータルコスト削減を顧客に提案している。既に米国企業とパートナーシップを結び米国市場へ展開しているが、本商談会では、国外展開を更に加速するための提携先として日本の同業者や関連企業との商談をを希望。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社が製造する産業機器と日本企業の産業機器の組み合わせによって、トータルかつターンキー（すぐに使える）な設備を碎石場や鉱山などの現場に供給したい。インド国内のみならず国外で協業できることを重視している。当社設備と関連する、鉄鉱石、石炭、石灰岩、珪岩、加工石、耐火物、スラグ破砕などの鉱物加工分野にクラッシャやフィーダ、スクリーン、コンベヤなどの産業機器を供給している企業と商談し、インド国内のみならず国際展開を図りたい。将来的な合併の可能性も排除しない。



導入例 (碎石場)

BIN025

ラッダ・グループ・オブ・インダストリーズ

Laddha Group of Industries

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] オーランガーバード（マハーラーシュトラ州）
 [他事務所] ー
 [HP] www.laddhagroup.com



組立ライン

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 864万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 60億9000万円
- 事業内容 : プラスチック成型金型業、家電組立請負
- 主要製品 : 空調部品、冷蔵庫部品、家電製品部品
- 取引先 : 家電メーカー、設備メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はプラスチック成型金型、及び組立加工メーカーで、90~1700MTまでの120台の金型成型機を持ち、中型、大型金型まで対応可能。クーラーやヒーター、冷蔵庫まで家電製品を広く供給しており、世界的家電メーカー、インドの代表的大型家電メーカー等との戦略的パートナーシップを基盤に、顧客要望に即応し製品を完成できる体制を整えている。組み立てラインは8台あり、提携メーカー品の組み立てにも対応、サプライチェーンの一部を担い、分業、効率生産に貢献している。現状、海外メーカーへの協力として食洗器、オーブングリル等のより複雑な加工分野にも取り組んでおり、先進国マーケットへの進出を目指している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

現在直面しているのが、海外メーカーの生産委託を請け負う際の生産性向上や、組み立てにおける先進機器取り扱いにおける知見不足である。日本の優れた生産技術を取り入れ、一層の生産効率アップ、製品の品質向上を達成し競争力を高めたい。

■ 合併会社の設立

技術提携を経てインドにおける合併企業を設立し、近い将来、携帯電話、テレビ、PC等の先進電子機器生産に対応できるようにしたい。最近日本の射出成型機を購入し、その技術基盤、プロ意識、サポート体制等に触れるにつけ、日本企業がなぜ世界的に認められているかを実感し、それらを自社にも取り入れたいという強い希望を持った。



空調機

BIN026

アイディアル・モックアップス

Ideal Mockups Pvt Ltd.

[参加予定者] 取締役

[本社] ナーグプル(マハーラーシュトラ州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.idealmockups.com/>

当社製造モックアップ1

- 設立年 : 2011年
- 資本金 : 270万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 5000万円
- 事業内容 : 製造販売
- 主要製品 : モックアップ (模型サンプル)
- 取引先 : 医療機器、キッチン用品メーカー等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、2012年より品質並びに再現忠実度の高いモックアップ (模型サンプル) をインドで生産開始した。それまでインドではCNC加工やABS樹脂を活用したモックアップを製造できる企業がなかったが、韓国LG向けの供給を開始、その品質とスピード感が口コミで広がり、多くのデザインハウスの支援を受けることとなった。顧客との関係構築をベースにして、質の高い仕事並びに製品開発サポートを強みとして、インド国内だけでなく、米国、英国にも出荷されている。設計開発サポート強化、少量バッチ生産、金属加工の質を向上させる等を通し、グローバル展開を拡大していきたい。

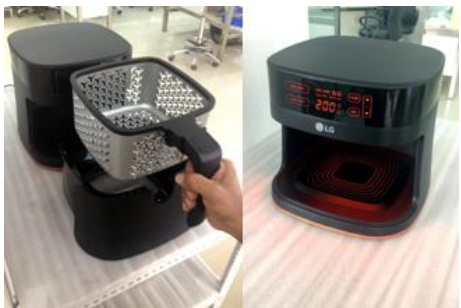
商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社が製造するモックアップの品質を向上させるために、工具、素材などを購入したい。表面の仕上げは品質に大きく影響することから、具体的には表面加工材料、顔料、アクリル染色材料、硬質ポリウレタンフォーム、鋳造およびCNC加工関連材料、検査用器機等の購入を希望する。生産プロセスの観点からは特に日本企業のプラスチックメッキ・成型、転写印刷技術、真空鋳造、金属加工、ソフトツーリングの技術に関心あり。インドでの販売ではなく、自社で活用することを前提に購入を希望する。

■ 共同開発・技術提携

日本企業との提携により、グローバル展開が更に進むような品質と製造スピード向上を目指したい。これまで当社の技術はインハウスにてトライアンドエラーで築いてきたものにて、専門的なアドバイスをいただいたものではないこともあり、是非日本企業の支援を受けたいと思っている。開発、設計から少量の生産に至るまで模型作成のどのプロセスの支援でも検討可能。当社の強みはインドで初めてCAD、CAM、CNCを活用してモックアップを製造したこと、12年の実績、また日本並びに他国と比較しても低コストでの生産が可能であること。



当社製造モックアップ2

BIN027

ビージェイ・レルム

Beejay Realm Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] モハリ(パンジャブ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.medixview.com/>



狭心症の非侵襲的治療
に用いられるECPマシン

- 設立年 : 2000年
- 資本金 : 4500万円
- 従業員数 : 25名
- 売上高 : 1億5000万円
- 事業内容 : 医療用機器・資材の製造・販売
- 主要製品 : ESWL、ECP、医療用X線照明装置、医療消耗品等
- 取引先 : 病院、介護施設等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、FDA、ISO13485、CE
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、主に放射線科、循環器科、泌尿器科等を中心に品揃えし、代表的な製品は、腎臓結石の手術治療に使用される体外衝撃波結石破碎装置（ESWL）、心臓疾患に使用される強化逆流防止装置（ECP）、LCD TFT技術を使用した医療用X線照明装置である。殆どは外部業者から調達し、当社では組立とテストを行っている。また、医療消耗品も取り扱う。顧客はインド全土の大規模病院、介護施設、販売業者である。また、欧州、アラブ首長国連邦、アフリカ、極東、バングラデシュに輸出もしている。従業員は、熟練エンジニア25人である。当社が立地するパンジャブ州は投資に最も適した州に選出され、電力、人材などの利用で政府からスピーディな協力を得られる。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

インドおよび近隣諸国における大規模・中規模病院、介護施設を対象に、医療機器を製造・販売する日本企業と独占販売代理店契約を締結したい。製品に求める点は、信頼性が高く、アフターサービスが最小限で済むことである。また、カテーテル、カニューレ、縫合糸等の医療用消耗品も取り扱っており、革新的な消耗品を製造・販売する企業にも関心がある。消耗品の場合は、需要が大量であることが前提であるが、供給側の実現可能性を協議した上で、数量・価格の合意形成をしたい。

■ 合併会社の設立

放射線科、循環器科、泌尿器科等の領域における医療機器のメーカー、または医療消耗品、使い捨て製品の製造会社と合併会社を設立したい。インドおよび第三世界の国々の市場ニーズは、あらゆる種類の病院で使用される信頼性の高い医療機器で、アフターサービスが不要または最小限のサービスしか必要としないことである。一方、イメージインテンシファイア、Cアーム製造に使用される高圧ユニット、ESWLの製造に使用されるスパークギャップ、リフレクター、アクチュエータ等を日本から受注することも期待している。



腎臓結石等を砕くESWL
(体外衝撃波結石破碎機)

BIN028

マルチダイメンションズ

Multidimensions

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://multidimensions.co.in/>



Automation
Equipment
Manufacturer

製造機械

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 56名
- 売上高 : 2億6800万円
- 事業内容 : 精密機械部品の製造、販売
- 主要製品 : ベアリング関連部品、機械装置
- 取引先 : 繊維、食品加工メーカー等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は精密機械部品商社にて、ベアリングをはじめとする駆動機械部品に強い。リニアガイド、リニアアクチュエーター、ボールねじ、とめ輪等、ベアリングを構成する部品についてインド全土にまたがる、繊維、食品加工等の大手機器メーカー、またメンテナンス、修理を行う中小工場向けに供給を行う。ドイツ、日本、米国の大手機械部品メーカーのインド代理店として、主力商品については在庫を持ち、小型モーターや、電機部品等、顧客の要望に従い、一括して基幹部品供給に携わる。最近では部品供給にとどまらず、機械装置製造にも進出し、FA機器や自動車業界等への装置販売に進出している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

更なる事業多角化として、インド政府が奨励する半導体製造請負、および後工程の中心たるテスト、組み立て、パッケージング等の分野に向けた部品、装置、消耗品等の取り扱いを始めたい。インド大手機器メーカー向け精密機械部品供給の長年にわたる経験を踏まえ、インド半導体製造に関わる事業分野へ進出を考える日本の部品、装置、消耗品メーカーの販売代理店としてサプライチェーン構築に関わりたい。

■ 合併会社の設立

日本メーカーのインド進出に関しては柔軟に中長期的なパートナーシップを構築してあたりたい。半導体分野への進出に関わる事業提携の一環として日本の先進技術、知見の共有を進めるために広範な技術提携を実施し、パートナーシップ構築の一環としたい。



ベアリング

BIN029

イキオ・ソリューションズ

IKIO SOLUTIONS PVT LTD

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ノイダ (ウッタル・プラデーシュ州)
 [他事務所] 米国、中国、アラブ首長国連邦
 [HP] <https://www.ikio.in/>

[会社概要]

30年以上の歴史を持つIKIOグループは、インドにおける大手ODMおよびエンドツーエンドソリューションプロバイダーである。当社は、発光ダイオード (LED) 照明、電子機器製造サービスソリューションの製造業者およびサービスプロバイダーであり、インド政府が運営するMake in Indiaイニシアチブの一部である。また、インドのNSEとBSEと呼ばれる2つの証券取引所に上場している。主にODMとして、製品を設計、開発、製造して顧客に供給し、顧客企業は製品を自社ブランドで流通させている。米国で国際的な顧客基盤を構築している。

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 5億1785万円
- 従業員数 : 1500名 (グループ)
- 売上高 : 85億7000万円
- 事業内容 : 照明器具、電子機器の製造業
- 主要製品 : LED照明モジュール、PCBA (プリント基板アセンブリ)
- 取引先 : 大手電子・電気機器メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO50001、ISO50001
- 日本企業との取引経験 : 有



自動車用の電子機器等

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

インドでは自動車市場が成長しており、それに伴い自動車照明業界も成長している。DRL(昼間点灯)とLED照明は、インド市場に参入希望の企業にとって潜在的な機会となり、EV、ハイブリッド車、自動車用電子機器にソリューションを提供する専門知識を有する企業が求められている。ついては、自動車用照明、電気・電子製品、IoT、先進運転支援システム (ADAS) の開発技術を持つ日本企業との技術提携、合併会社を希望する。現在、将来の拡張に備えて4645㎡の施設を建設中である。

■ 共同開発・技術提携

当社では照明製品と電子製品の製造のための完全な設備を備えており、自動車OEMでインド市場での事業拡大に関心のある日本企業との提携を希望する。具体的には、ヘッドランプ、テールランプ、アンビエント照明ソリューション、インジケータライト付きサイドミラー、ADAS向け自動車用電子製品、ECU、EV用OBC (オンボード充電器)、計器クラスター、ドライバー情報システム、バッテリー管理システム等である。



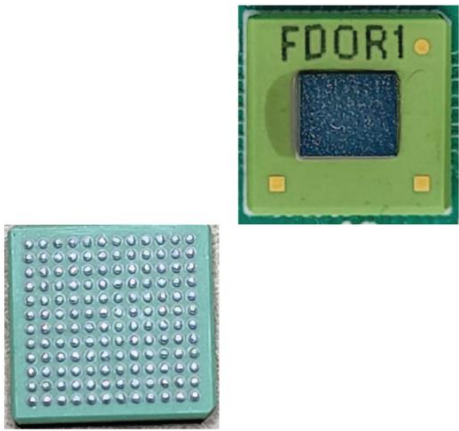
自動車用の照明器具等

BIN030

フェルミオニック・デザイン

Fermionic Design Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)
 [他事務所] 米国、イタリア
 [HP] <https://www.fermionic.design/>



当社製品の集積回路

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 3億6750万円
- 従業員数 : 32名
- 売上高 : 2億7450万円
- 事業内容 : 産業用集積回路の製造・販売
- 主要製品 : 自動車用ASIC、通信用IC集積回路、FEMICなど
- 取引先 : 自動車メーカー、通信事業者、レーダー製造業者
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドの大手 VC から出資を受けるファブレス半導体製品製造会社。創業者はインテル、グーグルなど大手半導体企業の出身で、経営陣はVLSIおよび半導体設計の分野で豊富な経験がある。インドの大手 OEM に部品を供給し、Tier 1 半導体企業向けの複雑な SoC (システムオンチップ) を構築してきた。製品は、X バンド ビームフォーマー、X バンド フロントエンド モジュール、超低ノイズ低ドロップアウト レギュレーター、水晶発振器 IC を提供している。創業当初からグローバルビジネスの構築に注力し、収益の3分の2をインド国外から得ている。協業によるインド、日本の両市場での販売も視野に入れている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

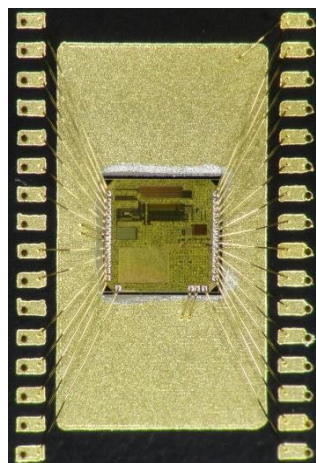
ファブレス企業の為、ウェハ製造、組立/パッケージングは、現在、米国、台湾等に依存している。これらの材料/サービスを手頃な価格で提供できる日本の中小企業がいれば、ベンダー/サプライヤーとして検討したい。

■ 代理店契約・日本製品の販売

自社で構築した水晶発振器 IC に必要な水晶を調達したい。水晶メーカーとの繋がりがないことが原因で調達に、この IC 生産に遅延をきたしており、日本企業からの調達は課題解決の理想的な選択肢と考えている。

■ 共同開発・技術提携

高周波レーダーアプリケーション用の高度なICの組立およびパッケージングのパートナーを見つけることを期待している。IoTやWifiなどの消費者市場では、これらのプロトコル実証済みIPの取得が課題となっている。当社は、このようなIPの共同開発に参入する準備をしている。共同開発のための予算は約25万ドル確保している。現在の従業員数は約30名のフルタイムエンジニアで、アナログ、デジタル、カスタムレイアウトの領域に均等に分かれている。ターゲット市場は、IoT、NB-BLE、Wifiである。



当社製品の集積回路

BIN031

ターボ・エンジニアーズ (CBE)

TURBO ENGINEERS (CBE)

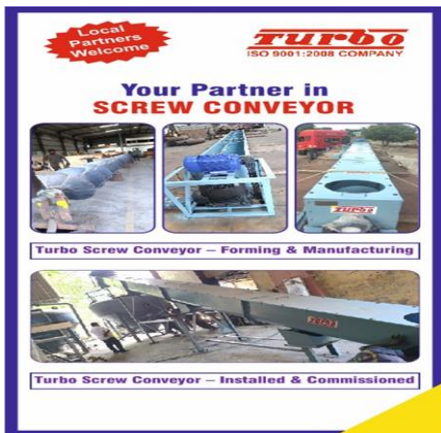
[参加予定者] 取締役

[本社] コーヤンブットウル(タナル・ナードゥ州)

[他事務所] UAEや豪州、マレーシアに代理店有り

[HP] <https://www.turboengineers.com/>

当社セラミック製製品



当社コンベヤ製品

- 設立年 : 2000年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 63名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 産業機械、玄武岩製品製造業
- 主要製品 : 耐摩耗製品、ベルトコンベヤ等
- 取引先 : 火力発電所、鉱山、鉄鋼業等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

火力発電所、製鉄所、セメント工場、鉱工業向けにベルトコンベヤーやエレベータ、フィーダ等の輸送機器とその部品をメインに製造。現地大手企業をクライアントに持つ。また、地元の火山で採掘された玄武岩から作られたユニークなタイルなどを製造。玄武岩製品は優れた耐摩耗性や耐腐食性があり、国内外で広く使用されており、海外に広く輸出されている。

本商談会では、将来的な合併の可能性も視野に入れつつ、日本から当社顧客に導入可能な産業機器の調達について広く商談を希望。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

当社が顧客とする火力発電所、製鉄業、鉱工業向けに用いられる革新的な機器、装置類や、AIやIoTを用いた先進的なソフトウェアについて広い分野で調達を目的とした商談を希望する。当社のネットワークを活用してインドでの輸入卸パートナーとして協業できる。

■ 合併会社の設立

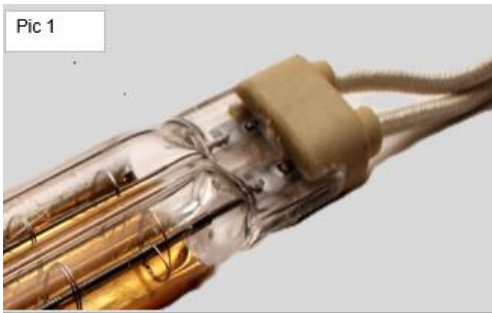
当面は輸入卸的な立場を担うが、将来的にはインドで合併し、日本製の産業機器の製造を担うことも視野に入れたい。興味ある製品があれば実際に日本企業を訪問見学し、協議を重ねてMOUを締結し長期的な関係性を構築したい。合併にあたっては当社に51%の議決権を希望するが、詳細については商談時に確認頂きたい。

BIN032

ライテックス・エレクトリカルズ

Litex Electricals Pvt Ltd

[参加予定者] 取締役
 [本社] プネー(マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] www.litexelectricals.com



赤外線ランプ

- 設立年 : 1979年
- 資本金 : 1億4000万円
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 1億3500万円
- 事業内容 : 製造販売業
- 主要製品 : ハロゲンランプ
- 取引先 : ペットボトルメーカー、繊維業界
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、インドでハロゲンランプを開発製造したパイオニア企業であり、もともとは一般ライトの500-1000wを製造、1500wについてはインドで初めて製造した企業。更に1986年にはインドで初めてショートウェイブの赤外線加熱によるハロゲンランプを製造した。会長はペンシルバニア大学でMBAを取得、他の取締役も物理の博士号を取得して、製品開発の技術基盤があり、ハロゲンランプの製造に必要な設備をすべて自社開発している。現在もTV、映画向けにハロゲンランプを製造しているインド唯一の企業にて、米国、英国他輸出は1990年より実績を積んでいる。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社が製造するレーザーポンピングランプの寿命を延ばすことを検討しており、そのためにタングステンのフィラメントとクォーツチューブ製品を製造する設備機械を日本企業より検討したい。また、技術という観点では、当社の真空システムと電極製造の技術をアップデートしたいと思っている。優秀な人員、柔軟な製造・販売体制、顧客ベースが当社の強み。日本との提携を通して製造した製品は、インド国内だけでなく、米国、欧州にも輸出することを考えている。

■ 共同開発・技術提携

レーザーポンピングランプの専門性をもつ日本企業と提携することで、私たちの技術を進化させ、インド工場、製造設備機械をアップデートし、グローバル市場への製品の展開をしたいと考えている。ショートウェイブの赤外線加熱ハロゲンランプ、クォーツチューブについては、上記記載の購入の検討とともに、製造技術を支援してくれる日本企業があれば面談をしたい。提携する日本企業の規模感は問わない。また、上記製品は当社完成品製造を目的として活用する。



レーザーポンピングランプ

BIN033

サウラシャクティ

SAURASHAKTHI

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ハイデラバード（テランガーナ州）
 [他事務所] ー
 [HP] ー



太陽光発電システム

- 設立年 : 2012年
- 資本金 : 1400万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 4200万円
- 事業内容 : 再生可能エネルギーソリューション業
- 主要製品 : 太陽光発電システム、LED照明他
- 取引先 : セメント産業、インフラ業界、製薬会社等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は各種の商業分野、産業分野の企業が求める要件に適した省エネ、エネルギー効率製品を提供する再生可能エネルギーに関する電気系エンジニアリング及び建設ソリューションを提供する企業である。過去10年間に、産業オートメーション (PLC、VFD、SCADAシステム)、電力制御パネル、太陽光発電システム (屋上/地上設置)、変電所および送配電などのソリューション提供の実績を有する。これらのプロジェクトにおいては候補地の現地調査、基本設計、供給、設置、サービスまで全てのプロセスにおいてターンキーソリューションを提供している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

再生可能エネルギー、産業用オートメーション、ロボティクス、電気自動車、半導体・エレクトロニクス分野の製品に関心を持っている。これらの分野はインドにおいて今後益々成長が見込まれる分野であり、新たに取扱いを行うことによって事業ポートフォリオの拡大を目論んでいる。特に電気自動車関連ではDC-DCコンバータ、パワーエレクトロニクスコントロールカード、DC モーター、照明関連製品、また省エネ関連製品にも興味を持っている。

■ 共同開発・技術提携

航空宇宙・防衛、電気自動車、半導体・エレクトロニクスを専門とする日本企業との商談を希望している。特に航空宇宙・防衛分野はインドでの潜在的成長性が高いことから、この分野でインドへの進出を希望する日本企業に対して、当社としてインド市場において求められる技術要件、ビジネス要件に関して共同開発・技術提携を通して支援することが可能である。当社と協業する日本企業には長期的なパートナーシップ構築を期待している。



LED照明製品

BIN034

SRP クレーン・コントロールズ (インドア)

SRP Crane Controls(India) Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ラージコート (グジャラート州)
 [他事務所] デリー、ベンガルール他
 [HP] <https://srpcranecontrols.in/>



ケーブルトロリー



導体レールバスバー



無線コントローラー

- 設立年 : 2017年
- 資本金 : 863万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 4億6700万円
- 事業内容 : 天井走行クレーン用コントローラー等製造、販売
- 主要製品 : 天井走行クレーン用ケーブルトロリー、コントローラー等
- 取引先 : 各種製造メーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001、50001
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

当社は倉庫や工場の天井走行電動クレーンの無線コントローラーや、ケーブルトロリー、電源供給用導体レールバスバー等を製造する。工場等の構造体天井に設置された2本の平行な滑走路を走行するクレーンの付属部品となる。広く製造業にとどまらず、石油・ガス産業や、港湾、変電施設、重工業等に供給実績がある。各種ISO規格を取得して、インド国内にとどまらず、欧州、中東、アジア、アフリカ諸国へ輸出も実施しており、耐久性、正確性、安全性、操作性等にて定評を確立している。製品の品質化のみならず、メンテナンス等アフターケアの充実にも重要課題として取り組んでいる。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本のクレーンコントロール無線システムに興味があり、簡単なボタン操作で走行管理できる無線コントローラーをインドで販売したい。日本の電子機器の使い勝手と耐久性を兼ね備えた定評についてはインドでも確立されたもので、他の追随を許さない。ケーブルトロリー等とも合わせて、安全で効率よい走行管理を実現するため日本の最先端技術の導入に関わりたい。

■ 共同開発・技術提携

産業用天井走行クレーンに関わるコントロールユニット製造全般にわたる技術の向上を目指したい。内部部品から始まり、システム全般にわたるパフォーマンス向上のため、日本の最先端技術を導入したい。今後の大きな伸長が間違いないインド市場において、効率生産、技術革新を通じてゆるぎないステータスを確立するため将来的な合併会社設立も視野に入れた技術提携、技術指導に興味のある日本メーカーとの商談に期待している。

BIN035

モドバク・エンジニアリング・インド MODVAK ENGINEERING INDIA PVT. LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バハドゥルガルー（ハリヤーナー州）
[他事務所] ニューデリー
[HP] <https://www.modvak.com/>



ターミナル

- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 9100万円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 9億1000万円
- 事業内容 : 精密機械部品の製造
- 主要製品 : 各種ターミナル、コネクタ
- 取引先 : 自動車、電子機器メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、ISO16949
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

配線用のターミナル、コネクタやその他の精密プラスチック部品等を製造販売している企業。プレス加工、射出成形、スポット溶接、電気メッキ等の幅広い加工技術により、数百種類のターミナル、コネクタや精密プラスチック部品を、主として自動車、電化製品、電子機器メーカーや航空宇宙産業に供給している。

自社内に研究開発センターを持ち、製品についてはすべて自社内で開発、設計するとともに、それらを最新鋭の機械設備を用いて加工することにより、グローバルスタンダードに適合した高品質でコスト競争力のある製品を短納期で提供している。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社はこれまで最新鋭の各種加工機械、設備を日本企業から購入してきており、また今後も購入していく予定であるため、それらを提供できる日本企業との商談を希望している。具体的には、CNC、VMC、EDM等の各種工作機械、プレス加工機、射出成形機等であるが、現時点では特にリールtoリール方式の電気メッキ装置（リフローメッキ・選択的メッキが可能なもの）や三次元測定機に関心がある。

■ 共同開発・技術提携

より高付加価値の製品、もしくはよりコスト競争力のある製品の開発製造に向けて、日本企業との共同開発、技術提携について商談を実施したい。具体的に対象となる製品は、例えば電子機器用拡張ボード、自動車、二輪車用の各種スイッチやセンサー類、バッテリーケース用モジュールやバッテリーマネジメントシステム、EV充電器等を想定している。パートナーとなる日本企業に対しては、製品開発や試作・試験、材料選択、および製造プロセスや組立工程のデザインにおける知見やノウハウを期待している。また、単なる共同開発、技術提携だけでなく、合併会社の設立（中長期的な展望も含む）についての議論も可能である。



プラスチック加工部品

BIN036

アトランティック・エクシム

ATLANTIC EXIM

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] カロル (グラジャート州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.atlanticexim.com>

【会社概要】

当社は、今年設立されたばかりの企業で、海外企業の技術コンサルタント / 調達コンサルタント サービス、販売代理店 / 代理店サービス、および製品供給を専門にしています。強みは、社長の経験とネットワーク力です。開業前に電気工学分野で25年の経験を持ち、ヨーロッパの大手重工業メーカーで品質マネージャーを務めていました。英国のIRCAの会員であり、ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001のIRCA認定主任監査員でもあります。当社は最近、亜鉛合金インゴットを生産するイタリアの企業と代理店契約を締結しました。独自の資金により、今後は、アラブ首長国連邦とシンガポールに支店を設立する予定です

- 設立年 : 2024年
- 資本金 : 75万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : 375万円
- 事業内容 : 技術/調達コンサルティング業
- 取扱製品 : 金属、プラスチック等の原材料
石油製品
- 取引先 : 商社、メーカー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 無



技術/調達コンサルティング・サービス

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本のメーカーやOEM製造業者、商社、電気・電子産業、金属・鉱物、非LME銅カソード、銅線材、銅線、ニッケル、プラスチックなどの原材料や石油製品を扱う企業と提携し、インドにおける代理店サービスを提供したいと考えています。技術製品、非技術製品いずれも取り扱います。大量注文や大量注文の場合、当社は営業代行し、物品と支払はインドのバイヤーと日本企業で直接取引する形になります。



国際貿易/販売代理店/
代理店サービス

BIN037

フェニックス・コンストラクション・テクノロジーズ Phenix Construction Technologies

[参加予定者] 代表取締役
[本社] アフマダーバード (グジャラート州)
[他事務所] デリー、ムンバイ他
[HP] www.mbphenix.com



軽量鉄骨建築

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 8億5600万円
- 従業員数 : 1400名
- 売上高 : 135億円
- 事業内容 : 建設業
- 主要製品 : 軽量鉄骨構造物
- 取引先 : 各種製造メーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は鉄骨組立型建設を中心とする建設会社である。軽量鉄骨を組み合わせて、効率よく構造物を構築する。現在では設計段階からシステム管理を徹底して、鋼材の切り出し、組み合わせ、構造計算、建設プロセスまでをすべてを管理、結果として材料、日程、必要人員等の最効率化を実現し、コスト削減を実現している。

もちろん、作業工程の安全管理にも配慮して、多くの作業員が安心して作業に当たれる環境を実現している。年間72000MTの鋼材を取り扱い、世界中で2500以上のプロジェクトに従事した実績は、今後インドの産業発展を支える重要なインフラ企業として欠かせない存在である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

共同開発、技術連携のプロセスを経て、今後大きな伸長が見込めるインドの建築ビジネスにおいて大きな成功を収めるべく、日本企業との合併会社を設立したい。

■ 共同開発・技術提携

国際的な品質基準をクリアーできるような、鉄骨構造建築の実現のため日本の建築技術を取り入れたい。例えば、橋梁建築、重層建築等を効率よく、安全に施工できるような技術一般の導入である。複雑な施工でも組み合わせや、接合ミス、建設現場の安全確保等のリスクを最大効率で管理する全般的な建築技術の導入となる。日本関連のプロジェクトに参画しており、大手ゼネコンのプロジェクト管理に接し、その卓越した工程管理と効率実現のレベルを体感しており、是非当社にも導入したい。

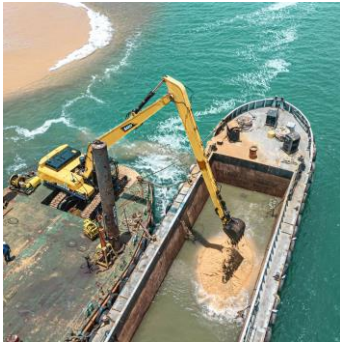


建築物一例

BIN038

アムルート・ドレジング・アンド・ SHIPPING Amrut Dredging and Shipping Limited

[参加予定者] 代表取締役
[本社]ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
[他事務所] グジャラート州内に2拠点
[HP] <https://amrutdredaina.in>



浚渫、埋立



港湾開発



海岸保全

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 6億3000万円
- 従業員数 : 70名
- 売上高 : 2億3000万円
- 事業内容 : 浚渫、埋立、港湾開発および造船業
- 主要製品 : ー
- 取引先 : ゼネコン、港湾運営機関等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

浚渫、港湾開発、海岸保全その他海洋インフラの整備を手掛ける企業。研究開発に力を入れ先進的な技術を積極的にすることで、設立以来10年の間に急速な事業成長を実現してきた。長大な海岸線を持つインドという国において、環境や海洋資源の保護と経済的成長、発展を両立させる形での港湾や沿岸部の開発を目指している。

近年では、浚渫、埋立や港湾開発に用いる特殊船舶の造船を自ら手掛けており、将来的にこの分野に更に注力し発展させていく計画である。我々自身で必要な特殊船舶の開発製造を行うことにより、より幅広く的確にクライアントのニーズに対応することができ、我々の事業の更なる成長を促すことが可能と考えている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

浚渫、港湾開発、海岸保全およびそれらに必要な特殊船舶の造船について、日本企業との技術提携等に向けた商談を希望している。協業の形態としては、必要な資材・設備等の購入から、ライセンスベースでの技術供与・共同開発や、それらを踏まえた将来的な合併企業の設立まで、様々なオプションについて議論が可能である。

具体的に技術提携等を想定している分野の1つ目は、造船：浚渫・港湾開発に必要な特殊船舶や設備機器の開発設計および製造について。特に、環境に優しくサステナブルな造船技術・プロセスや先進的・効率的な造船のためのエンジニアリング・オペレーション手法の導入、特殊な素材・資材の調達に関するサプライチェーンの強化に関して議論したい。

2つ目は、浚渫・港湾開発・海岸保全：環境に配慮したサステナブルな浚渫・埋立・海岸保全の手法や、そのために必要な環境モニタリングについて。また、そのために必要なリアルタイムでのデータ取得・分析技術、水中で使用できる自走機器、あるいはこの分野に関連した環境配慮技術（グリーンテクノロジー）全般にも関心がある。

BIN039

エロス・エレベーター&エスカレーター

Eros Elevators & Escalators Pvt.Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社]ムンバイ (マハーラーシュトラ州)

[他事務所] インド国内8拠点

[HP] <https://www.eroselators.com/>

乗客用エレベーター



貨物用エレベーター



駐車システム

- 設立年 : 1947年
- 資本金 : 1450万円
- 従業員数 : 400名
- 売上高 : 17億4000万円
- 事業内容 : 各種昇降機の製造販売およびメンテナンスサービス
- 主要製品 : エレベーター、駐車システム等
- 取引先 : 不動産デベロッパー、建設業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

インドにおけるエレベーター産業の先駆者。創業以来70年以上の長い歴史と経験を持ち、高い品質と優れた顧客サービスで知られている。

乗客用、家庭用、貨物用、自動車用等の様々なエレベーターの製造販売および据付およびメンテナンスといった各種サービスの提供、更には古くなったエレベーターのアップグレードまで、昇降機に関する幅広いニーズに応えることができる。また近年では、大都市における駐車場不足問題に対応するため、最新技術を導入した自動化立体駐車システムの開発製造を行っており、既に4000カ所以上の設置実績がある。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

エレベーター、駐車システム、ビルオートメーション、スマートビルディングといった分野で、優れた技術を持つ日本企業との共同開発、技術提携に関する商談を希望している。エレベーター自体を製造する企業でも、あるいはそれらの部品、パーツを製造する企業でも可である。特に、成長を続けるインドおよび中東アフリカ市場に関心を持つ日本企業との商談を歓迎する。また、中長期的には協業関係の深化を踏まえた合併会社の設立も検討し得る。

日本企業の持つ設計開発力、プロセスマネジメント、品質管理手法等に関心があり、それらを導入して当社の持つインド市場の知見、製造設備やインフラ、サービスネットワーク、顧客基盤やブランド認知と組み合わせることにより、更に高品質でコスト競争力のある製品を共同で開発・製造・販売することができるものと期待している。

BIN040

デザート・イン

Desert Inn Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ジャイプール（ラージャスターン州）
 [他事務所] ー
 [HP] ー

- 設立年 : 1991年
- 資本金 : 800万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 土地開発・複合施設の企画運営
- 主要製品 : ー
- 取引先 : ー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

ジャイプール市の中心部に位置する約25万平米の未利用地を開発するために設立された企業。

当該土地は現時点で一部開発済みであり結婚式場・イベント会場およびスパやテニスコート等を備えた総合スポーツ施設として使用されているが、大部分は未開発のままとなっている。

将来的には当該土地を、宿泊・飲食・商業施設、医療機関・高齢者向け施設、教育施設や居住区域を併設し、現代的なインフラを完備した、環境に優しくサステナブルなモデル地区として開発していく計画である。



土地全景（黄：開発対象全域、
 緑：既開発部分）

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当該土地の開発や施設・地区の整備運営にあたり、必要な知見、ノウハウや技術の面で協力していただける日本企業との商談を希望している。具体的には、「環境負荷の少ない土地開発」、「宿泊、飲食、商業施設、医療機関・高齢者向け施設、教育施設等の企画運営」、「エネルギー使用量削減、CO2排出低減に資するインフラの整備管理（水・電力の供給、廃棄物処理等）」の点についての協力、支援を期待している。

BIN041

デイベスメン・インディア

Davesmen India Pvt.Ltd.

[参加予定者] 部長
 [本社] インドール (マディヤ・プラデーシュ州)
 [他事務所] コルカタ
 [HP] www.davesmenindia.com



当社センサーを搭載した車両

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 5億6000万円
- 従業員数 : 34名
- 売上高 : 1億7000万円
- 事業内容 : 鉱山用安全機器製造販売業
- 主要製品 : オフロード車両用安全機器
- 取引先 : 車両メーカー等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、鉱山あるいは建設機械の安全機器におけるインド国内のパイオニアとして発展、現在ではこの分野で世界でもNo.1と自負する信頼性の高い製品を販売している。熟練された技術者と現場に密着、顧客のニーズに応じたサービス、対応ができることが強み。タイヤ圧のモニタリングシステム、疲労モニタリングシステム、傾斜計等が主要製品。インド政府、鉄鋼、建設関連の主要メーカー、ベンツ、キャタピラー、タタといった業界トップ企業とも取引あり。当社の製造技術、品質を更に向上させるべく、日本企業との提携を望み、商談に参加するもの。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入・代理店販売

鉱山用あるいは防衛用に使用するセーフティレーダーを製造できる日本企業と商談をしたい。当社は鉱山事故防止用のレーダーをすでに製造、販売しているが、インドの厳しい基準を満たすため、例えば60mの距離（人の認知は30-34m）かつオフロードで使用できるレーダーの購入を希望する。インドのレギュレーションにより、単なる輸入販売ではなく当社製造による一部国産化も必要にて、技術支援を含めた購入を検討したい。

■ 共同開発・技術提携、合併会社設立

人が特に暗闇の中セーフティゾーンに入ってきたことを認知するディフェンスレーダー、あるいは行動制限のある囲いに人が近づいてきた時に感知するプリメーターフェンシングレーダーに関してFMCW（周波数連続変調）、RFID（無線周波数識別）、LIDAR（光による検知と測距）等の技術に関する支援をいただきたい。

また、上記技術を供与いただき、パートナーとしての関係基盤をより強固にすべく、日本企業との合併設立も検討したい。当社の供与できる強みはマーケティングと様々な鉱山に対する販売実績。出資比率に対しては、日本企業との議論に基づき柔軟に考えたい。



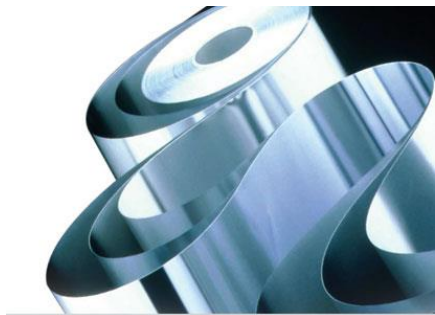
カメラモニターシステム

BIN042

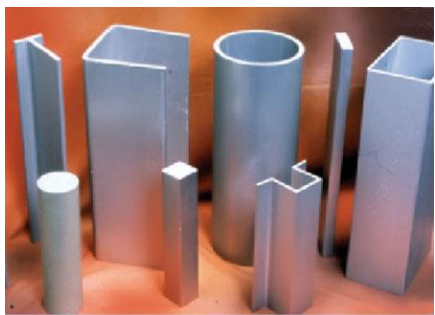
ヒンダルコ・インダストリーズ

Hindalco Industries Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] 東京都港区
 [HP] <https://www.hindalco.com/>



アルミシート



押出成型品

産業用セラミックス向け
高純度アルミナ

- 設立年 : 1954年
- 資本金 : -
- 従業員数 : 10000名
- 売上高 : 3兆8000億円
- 事業内容 : アルミニウムおよび銅製品の製造販売業
- 主要製品 : アルミニウムおよび銅関連製品
- 取引先 : 自動車、半導体、セラミック
ス等各種メーカー
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

アルミニウムおよび銅製品について、インド国内のみならず世界最大規模の企業。

アルミニウムについては、原料の採掘から精錬、加工までを一貫して手掛け、シート、ロール、押出成型品等として各種産業に供給する。このように統合された一貫生産体制および工程の自動化の推進により、高い品質、信頼性およびコスト効率を実現することが可能となっている。

また、研究開発を重視し常に最先端の技術を取り入れることにより、革新的な製品やアルミ、アルミ化合物の新たな用途の開発に注力している。こうした研究開発への投資および顧客中心主義の徹底により、進化していく顧客ニーズに対応し、市場での競争力を維持強化し続けている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

アルミナ、ベーマイト、その他アルミナ水和物（アルミナハイドレート）について、先端的な技術を有する日本企業との技術提携に関する商談を希望している。特に、これらについての高品質な原材料や革新的な製造工程に関心がある。

この分野において優れた技術を日本から導入することにより、ファインセラミックス、半導体、バッテリー、耐火物等の業界に対する当社の製品供給能力、製品品質、コスト競争力を強化していくことができるものと期待している。

また、これらの先端的な技術を用いて、ファインセラミックスの分野において革新的な製品を日本企業と共同開発したいと考えている。特に、既存技術・工程の改善というよりは、これまでにない画期的な技術を有する日本企業との議論を歓迎したい。

BIN043

シヤム・スチール・インダストリーズ

Shyam Steel Industries Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] コルカタ (西ベンガル州)
 [他事務所] インド全土
 [HP] www.shyamsteel.com



建築用熱処理鉄筋

- 設立年 : 1953年
- 資本金 : 10億円
- 従業員数 : 10000名
- 売上高 : 1200億円
- 事業内容 : 製造販売業
- 主要製品 : 鉄鋼、食品加工、建設用化学品
- 取引先 : インド建設関連事業
- 国際認証 : ISO9001, 14001
- 日本企業との取引経験 : -

【会社概要】

当社は約70年間にわたる豊富な製造経験を持っている。主な製造経験は鉄鋼セクターだったが、ここ数年で建設化学品、塗料、食品加工、インフラストラクチャなど多角化を進めており、それぞれの分野で最先端の製造施設を保有、敷地面積は数百エーカーにわたり、10000人以上の熟練した経験豊富な従業員を雇用、15000以上の小売業者と販売ネットワークも構築しており、加え若くてダイナミックな経営陣によるマネジメントの成果もあり、純利益も2000万米ドルを超える。製造、販売、経営に専門知識をもつ現地パートナーを探している日本企業との提携を期待している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

建設用資材あるいは日用消費財の分野における化学用品において日本企業から技術供与を受けたい。特に関心があるのは、粘性、耐性を強化する高品質の混和材、M40以上の品質のコンクリート流動性を強化する混和材、クラック防止の炭酸カルシウムおよびポリマーベースの混和材、またはシーラント、赤外線およびナノ技術を使った表面コーティング、表面仕上げにおける防水剤、その他関連製品の技術提携も検討したい。当社の強みはインドにおいて既に70年にわたり、建設関連資材を製造販売のうえ、建設用化学物質や日用消費財分野にも多角化してきた実績。優秀な従業員によるR&Dチーム、資金力、更にはBtoB、BtoC双方の切り口で販売実績があること。

■ 合併会社設立

上記技術提携だけでなく、インドにおける合併会社の設立も検討したい。日本企業からは上記で記載した技術を合併を通して供与いただきたい。当社の機能としてはインドにおける製造力と、マーケットへのアクセスを提供できると考えている。出資比率は合併の性質、両社の意向を踏まえ、柔軟に議論したい。



建築用化学用品

BIN044

ジェイッシュ・インダストリーズ

Jayesh Industries Ltd

[参加予定者] 取締役

[本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)

[他事務所] ー

[HP] www.jayeshgroup.com

合金鉄粉末

- 設立年 : 1967年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 27億円
- 事業内容 : 合金鉄等製造販売
- 主要製品 : 合金鉄粉末、金属粉
- 取引先 : 溶接関連企業
- 国際認証 : ISO9001, 14001, 45001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、インドにおいて50年弱にわたり、金属、合金鉄、ケミカル関連素材、スチールストリップ等を生産、販売してきた。これらの製品はさまざまな産業で素材、材料として使用されており、溶接電極、フラックス入りワイヤ、ダイヤモンド工具に使われ、あるいは業界としては航空機企業、製鉄所にも納入してきた。また、当社はインド全土に販売ネットワークを持ち、更に40か国超の国に輸出をしている。また、その輸出事業における卓越性が評価され、10年連続インド政府から表彰されている。独自のラボを持ち品質向上に努め、顧客にはジャストインタイムの供給を心がける。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社の製造技術あるいはその他冶金関連の技術向上、発展のために日本企業と技術提携を結びたい。具体的な商品としては、チタン製カリウム、粉末性フェロシリコン、その他金属パウダー。これらの製品は現在インドにおいて金属積層造形技術あるいは3D印刷の分野でニーズが高い。上記商品の中で特にチタン製カリウムについては、当社も現在製造中なるも、溶接以外の用途で使える製品を製造したい。日本企業に提供できる当社の強みは、長年の経営と製造の実績と、輸出先も含めた販売ネットワーク。

■ 合弁会社設立

上記技術提携の延長線上には合弁企業の設立も検討したい。日本企業と提携したい技術と商品は上述と同じ。当社はすでに15万平方フィートの敷地を保有するも、インドにおける合弁設立場所また出資比率に関しては、日本企業と議論のうえ取り決めたい。インド全土並びに海外にも、既存あるいは拡大予定の販売ネットワークあり、拡販機能を当社が提供できることが強みと考えている。



当社製品群

BIN045

ラムデブ・レジンズ

RAMDEV RESINS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 取締役
 [本社] ガンディーナガル（グジャラート州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://ramdevcoatings.com/>



エポキシ樹脂コーティング
 （床および建物高所）



ポリウレタンコーティング

- 設立年 : 2000年
- 資本金 : 500万円
- 従業員数 : 47名
- 売上高 : 2億3000万円
- 事業内容 : 樹脂コーティング塗料の製造販売
- 主要製品 : 産業用高機能コーティング塗料（エポキシ、ポリウレタン等）
- 取引先 : 石油・ガス、化学製品・肥料メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

建築物や設備、機材を腐食や悪天候等から守るための産業用高機能コーティング塗料を製造販売する企業。コーティング塗料は主としてエポキシ、ポリウレタンその他の樹脂を用いたものであり、また顧客の要望に応じてカスタマイズした製品も提供している。

顧客は石油・ガス、電力、インフラ、防衛関連、化学製品・肥料メーカー、自動車産業等、多岐に亘る。高品質・高機能な製品を開発し製造販売するだけでなく、顧客の現場に専門家のチームを派遣し、現場の環境を分析し腐食・劣化の原因を特定することで、顧客の理解と納得を得て適切な対応策を提案している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

高機能コーティング塗料に関する共同開発・技術提携について、日本企業との商談を希望している。具体的には、エポキシ樹脂製のプライマー及び塗料（ポリアミドもしくはポリアミンでキュアリングしたもの）、アクリル樹脂ベースのポリウレタン塗料（脂肪族イソシアネートでキュアリングしたもの）、フッ素樹脂ベースの塗料（JIS K5659準拠）および落書き防止用コーティング、等が対象となる。

顧客先は、鉄道関連（高速鉄道、鉄道車両）、プレハブ・システム建築関連、化学製品・肥料関連、石油精製関連等である。なお、販売先はインド国内を想定しているが、インド鉄道は多くの点で日本のJIS規格を採用・導入しているため、製品はJIS規格準拠であることが望ましい。

協業の形態としては契約ベースでの技術提携を基本とするが、中長期的な関係深化に伴い合併会社の設立に移行することも選択肢としてあり得るものと考えている。

BIN046

トリシュル・インダストリーズ

Trishul Industries

[参加予定者]代表取締役
 [本社]ジョードプル（ラージャスターン州）
 [他事務所] マレーシア、タイ、アラブ首長国連邦他
 [HP] <https://trishulindustries.com/>

- 設立年 : 1982年
- 資本金 : 1億4000万円
- 従業員数 : 35名
- 売上高 : 6億3000万円
- 事業内容 : 鉱物・化学品採掘業、化学品製造、販売、石油・ガスパイプライン請負業
- 主要製品 : ベントナイト粉末、掘削化学薬品、他
- 取引先 : 油井掘削事業、製鉄所、土木建設業、太陽エネルギー事業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は独自の鉱山と加工ユニットを所有し、複数の事業活動を行う企業グループである。ベントナイトの広大な鉱山取得から始まり、その後 消石灰、珪藻土など他の鉱物にも対象を拡大。以降、杭打ち、油井掘削、HDD(水平孔掘削)、特殊ポリマーの製造を開始。当社のポリマー製品は地下鉄やモノレールの建設など、大規模なインフラプロジェクトに採用されている。掘削泥水とポリマーの分野での長年の経験により存在感を高め、現在は世界中にチャネルパートナーと倉庫を持って事業展開を行っている。将来的には更に事業範囲を拡大し、防衛関連製品やEV部品製造に参入することを目指している。



製造工場

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

現在の取扱い製品は防水化学薬品、混和剤、基礎化学薬品、接着剤であるが、これらの製品に限定せず、トンネル工事、地下鉄、高速鉄道（新幹線）で広く使用されるその他の関連製品にも関心を持っている。当社のプロジェクトの多くは JICA 関連であり、すでにインドの主要な地下鉄、新幹線、および上部構造プロジェクトの承認済みベンダーであること、またエンドユーザーや請負業者と長期にわたる継続的な関係を築いていることもパートナーとなる日本企業にとっては大きなメリットであると確信している。

■ 合弁会社の設立

EV部品、太陽光発電、防衛関連製品に関連する製造会社との合弁会社設立を希望している。これらの産業はインドが抱えている課題そのものであるが、現在は全て中国からの技術導入、あるいは組立生産を担っているのみで実証技術を保持していない。当社は日本企業との合弁事業により、R&D、技術、投資、製造施設の運営等 幅広く対等な協業関係を構築したいと考えている。当社のパートナーとなる日本企業に対しては、100% のコミットメントを伴う透明で明確な事業運営の提供を約束する。



ラボラトリー

BIN047

ジャイン・イリゲーション・システムズ

Jain Irrigation Systems Ltd

[参加予定者] 部長
 [本社] ジャルガオン (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] U A E、イスラエル、メキシコなど
 [HP] <https://www.jains.com/>



培養容器

- 設立年 : 1986年
- 資本金 : 22億8000万円
- 従業員数 : 7000名
- 売上高 : 1022億円
- 事業内容 : 農業や灌漑用資材やシステムの製造販売
- 主要製品 : 灌漑システム、ポンプ、パイプなど
- 取引先 : 農家、農業法人、政府プロジェクトなど
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO50001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

灌漑と農業技術の分野におけるインド発の世界的企業。灌漑用の資材に加えて、点滴灌漑、スプリンクラー灌漑などの水利用の最適化を目的とした技術に強み。当社の組織培養(Tissue Culture)部門では、無菌環境で植物を繁殖させることで高品質の植物を効率的に生産する事業に1994年から携わっている。現在ではインドのバナナ総生産量 3 億本のうち半分のシェアを占めるに至る。本商談会では同部門で大量に用いられるガラス容器 (Vessel) の細菌やカビ、ウイルスなどの混入検知の技術や手法について共同開発できる企業との商談を希望。



培養容器の利用環境

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

写真にあるようなVessel (容器) に付着したバクテリアなどを効率的に検知できる仕組みを調達したい。当社組織培養部門では、社外からVessel (容器) を調達し、1日当たり10万個使用している。サイズは幅76mm、高さ130mm。色は透明で形状やサイズは1種類のみ。Vesselはクリーンルームで用いられるが、その前にVessel内面に付着したカビ、バクテリア、ウイルスを検出したい。現状は目視検査で対応しており、1-5%のVesselがコンタミ不良となっている状況。Vesselを10日寝かせてから使用しており、その間にカビは1-10mmに成長するので目視でも検査できるが、バクテリアやウイルスについては例えば近赤外線センサーのような技術を用いて効率的にスキャンニングしたい。効率的かつ正確に検知できる既存のシステムがあれば調達し、無ければ共同開発を目的として日本企業と商談したい。



バナナ苗木

BIN048

フィル・インダストリーズ

FIL INDUSTRIES PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] シュリーナガル (ジャンムー・カシミール州)
 [他事務所] デリー
 [HP] <https://www.filindustries.com/>



当社製品群
 (果汁飲料、濃縮果汁)

- 設立年 : 1989年
- 資本金 : 2億6700万円
- 従業員数 : 718名
- 売上高 : 51億3700万円
- 事業内容 : 果汁飲料製造、肥料製造、
観光ロープウェイ運営など
- 主要製品 : 果汁飲料、肥料など
- 取引先 : 大手食品製造業
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、
ISO22001、ハラル認証
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

農業、食品加工、都市モビリティ、観光、老人医療を多角的に手掛ける複合企業。インド最大の100%リンゴ濃縮果汁の生産者でもあり、農家とのネットワークも有する。別事業として地域の観光促進のためにロープウェイ事業にも従事。2026年に2基目が完成すればインドで最長、アジアで2番目に長いロープウェイとなる。持続可能な観光産業のための革新的な交通ソリューションも事業領域。本商談会では、日本からの飲料あるいは飲料原料の調達、飲料製造技術における提携、およびロープウェイ事業に関しての商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

インド国内での飲料に関する小売、卸売、あるいは代理店とのネットワークを活用して、日本の果汁飲料、飲料の原材料の調達を希望。企業規模は問わないが、ISO22000のような食品製造に関する認証を持っていればなお良い。果汁飲料だけでなく果汁を用いた菓子や食品のような領域でも良い提案があれば話を聞きたい。将来的には自社製品を日本市場に供給するような相互関係が構築できればなお可。

■ 共同開発・技術提携

果物の皮むきと芯抜き、スライスと角切り、凍結乾燥、高圧処理、果汁のコールドプレス抽出、真空包装、果肉とピューレ製造技術に関し、革新的なものがあれば調達、あるいは共同開発など行いたい。ロボティクスやAIを活用した機器類にも関心高い。自社利用を想定しているが他社への販売も内容によっては検討できる。

■ 合併会社の設立

ロープウェイ運航にあたって総合的な事業運営を担っている企業・自治体などで安全運行システムに知見のあるところと事業提携や合併について商談を希望。なお、ロープウェイ事業に関して、装置や部品、システムなどの部分的な領域での商談は想定していない。



ロープウェイ事業

BIN049

ニライヤナ・スタジオ

Nilaiyana Studios Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ポンディシェリ(タナル・ナードゥ州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.nilaiyanastudios.com/>

「僕ラーメン」のメニュー

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 450万円
- 従業員数 : 11名
- 売上高 : 675万円 (食品事業のみ)
- 事業内容 : 繊維・アパレル業、
食品加工業
- 主要製品 : 被服 (洋服、インド民族衣装)
ラーメン、丼、おにぎり
- 取引先 : 一般消費者
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

南インドの農村部出身の女性職人を核として、女性が技術を常に向上させる環境の創出を信念としている。既存事業では、繊維・アパレル業界のデザイン、製造、スキル開発を専門とする先駆者である。新規事業では、過去1年半で育てた営業5時間/日の「僕ラーメン」ブランドを拡大して本格的に食品加工業界に進出し、レストランチェーンにも独自のソースや特製製品を提供する。今後は、新規事業を分離して別会社を設立予定である。社長は、レストラン業で10年の経営経験があり、他にもグルメバーガーブランドを保有する等、手広く事業を手掛ける起業家である。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

最優先は、セントラルキッチン設置に向けた日本製の製造機械を購入することである。現在、麺と餃子の製造を外注しているが、規模拡大に伴い内製化してコスト削減し、麺の種類 (うどん等) を増やしたい。仕様については、「麺と餃子の皮の機械は、自動生地混合、安定した長さや幅の切断、1日あたり50~100kgの生産能力」、「おにぎりは、自動充填と成形、1日あたり300個の生産能力」、「餃子は、自動充填・密封、1日500個の生産能力」である。購入予算は900万円を想定する。また、将来のビジネス戦略として自動販売機の購入も検討したい。



ONIGIRI

「僕ラーメン」のおにぎり

BIN050

シュリラム・オートモール・インド

Shriram Automall India Limited (SAMIL)

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] デリー
 [他事務所] 国内に135店舗
 [HP] <https://www.samil.in/>



自社開発の仲介アプリ

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 5億円
- 従業員数 : 1450名
- 売上高 : 33億4000万円
- 事業内容 : 仲介サービス業 (自動車、建機のオークション・売買)
- 主要製品 : 自動車、建機
- 取引先 : 一般消費者
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

インド最大の中古車売買、仲介企業。中古車、商用車、建設機械、農機具、三輪車、二輪車などを売買するインド初の専用オークションプラットフォームを設立。またインド全土に135店舗を展開して、毎月数千件のオークションを実施中。また、グループ企業を通じて車両の検査、評価サービスや金融や不動産事業にも進出。これまで35万件以上の入札実績があり、250万人以上の登録顧客を有する。本商談会では、日本の車両売買、仲介事業者との事業規模拡大に向けた提携をメインの商談目的としつつ、売買プラットフォーム、EV充電設備、スクラップ技術等についても商談を希望。

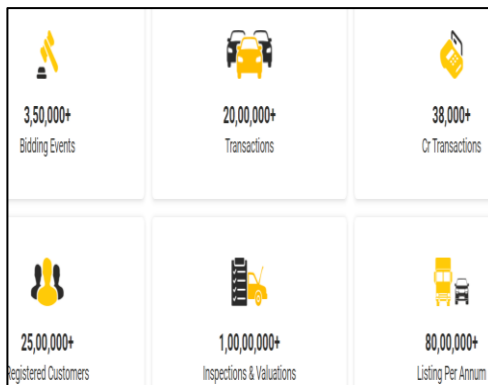
商談会参加目的

■ 合併会社の設立

インド進出を希望する日本の中古車等販売企業と提携の上で共同でインド市場での事業拡大を図ることが商談の最優先目的。

■ 日本企業からの購入

「AIを活用した入札ツール、市場動向のデータ分析、AIベースの車両検査などオークションシステムを最適化するためのAI主導のプラットフォーム」、「EV関連インフラ: 急速充電技術や充電ステーションを管理するソフトウェアなど、EV充電システム用の最新技術」、「リサイクル技術: スクラップおよび車両リサイクルに使用される最先端の技術や機器類」、「テレマティクスとIoT: リアルタイムの車両監視、フリート管理、ユーザーエクスペリエンスの向上のためのIoTシステム」のような製品、システムの調達や共同開発に関心がある。なお、当社の事業規模から、小規模企業やスタートアップとの商談が劣後する可能性がある。



仲介実績

BIN051

グローバル・ベンチャーズ

GLOBAL VENTURES

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ニューデリー

[他事務所] ノイダ、ファリダバード、ジャバルプール

[HP] <https://www.globalventureonline.com/>

テクノロジー & ソリューション

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 33万円
- 従業員数 : 450名
- 売上高 : 1億4000万円
- 事業内容 : 統合ITサービス、施設管理業
- 主要製品 : ERP、コンピュータ ネットワークソリューション、ITES-BPO等
- 取引先 : 医療メーカー、製薬メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インド全土に拠点を置く統合 ITサービス、施設管理サービス企業である。当社の事業範囲は非常に幅広く、IT サポート サービス、セキュリティ・監視ソリューション、効率的な施設メンテナンスサービス、洞察力に富んだエンジニアリング コンサルティング、空港地上業務サポート、警備、災害管理、給与管理サービス等、多岐にわたるサービスを顧客に提供している。

2008年の創業以来、「お客様に最高のサービスを提供する」という共通使命の下、あらゆる状況に24時間体制で適切に対処する能力を備えた経験豊富なチームによって顧客にサービスを提供し高い評価を得ている。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

現在 ITエンジニアリング、サイバー セキュリティ、AI および 機械学習のソフトウェア、医療機器、使い捨て消耗品、医薬品、電子機器、保守・メンテナンスサービス等に幅広い関心を持っている。

当社は政府系公社を始め、保健省、内務省、民間航空局、道路交通省など、インドの主要政府部門の多くにサービスを提供することで多様なビジネス分野での協力関係を築いていることから、日本企業に対してもこれら強固な販売ネットワークを通じた事業拡大の機会を提供することが可能である。

■ 合弁会社の設立

主にヘルスケアとIT分野での合弁会社設立を前提とした商談を希望している。特にインドに製造工場を設立し、インド全土にマーケティングオフィスを設置することを検討している日本企業との合弁会社設立に関心を持っている。日本企業が資金、技術、ビジネスノウハウを持ち込み、一方当社は合弁パートナーとして、さまざまなレベル(政府・民間の両方)で提携を行うことで、インドで事業を立ち上げるために必要なすべての許可とリソースを最も経済的な価格で取得、提供することで相互利益の拡大を図りたいと考えている。

ファシリティ
マネジメント

BIN052

アナンド・ウェアハウス

Anand Warehouse

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ボーパール（マディヤ・プラデーシュ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://www.indiamart.com/anand-warehouse/aboutus.html>

倉庫外観

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 15名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 倉庫業・物流業
- 主要製品 : 保管・輸送サービス
- 取引先 : 製造業
- 国際認証 : NADCAP認証
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

インド中央部・マディヤ・プラデーシュ州ボーパールに拠点を置く物流専門企業。当社の物流センターの面積は200,000平方メートルで、重荷重に耐える特殊なトライミックス床材を使用。3PLソリューションを提供し、鉄道操車場や国道12号線に近い好立地にあり、ドックレベラー、ホイスト、フォークリフトなどの機械を有し、専門的なサービスを提供。

本商談会では、日本の倉庫・運輸業とのグローバルな連携関係性に加えて、物品の効率的な管理に用いられる先端的なSCM用ソフトウェアやドックレベラー、ホイストやフォークリフトなどの調達可能性について商談したい。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

物流の効率的な管理に用いる、例えばAIを用いて予測や分析ができるような先端的なSCM（サプライチェーンマネジメント）用ソフトウェアや管理システムなどに関心があり調達を希望している。既製品のほか、現地の要望に応じたカスタマイズが必要となる可能性もあり、広く検討を行っていききたい。また、倉庫内で用いるドックレベラー、ホイスト、フォークリフトなどの機材の調達可能性についても商談したい。日本企業とグローバルな関係性を構築して双方のスケールメリットが得られるような事業連携の可能性についても商談していききたい。



倉庫外観

BIN053

ダーリンソンス・ワイヤー・フォームズ

Darlingsons Wire Forms P Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ティルネルヴェーリ(タナル・ナードウ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <http://www.bellpins.in>



当社の金属部品加工設備

- 設立年 : 1952年
- 資本金 : 440万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 2700万円
- 事業内容 : 文具用金属部品の製造
- 主要製品 : 文具用ピンやワイヤ
- 取引先 : 文具製造メーカー、消費財製造メーカー、機械メーカーなど
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

文房具のメーカーおよびサプライヤーで70年の歴史を持つ Bell Pins Groupの一員。ペーパーピン、ゴムバンド、安全ピン、バインダークリップ、キャンドルなどが主力商品で、当社では文房具に用いられるピンやワイヤーなどの金属部品を製造。グループ内では文房具だけでなく工業用ホッチキスなど産業機器も製造。

本商談では、当社がインド国内に持つ商流を活かし、日本製の文房具やその他消費財、および文房具製造機器をインド国内で販売したく、それらを供給できるメーカーとの商談を希望。日本ならではの品質やデザイン性を持つハイエンド商品を期待している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

幅広い商品の提案を期待しているが、特に関心の高い商品としては、ホチキス針、バインダークリップ、ホッチキス、コピー用紙、A4用紙。その他広くオフィス/学校向けの文具も提案いただきたい。その他に消費財として、たわしなどの清掃用品、キャンドル、ジェルペン、安全ピン、などでデザインと機能性に優れた革新的な消費財の提案を期待。

産業機器については、文具・消費財の製造、梱包機械など、中小規模での製造に適した機械についての提案を期待。中古品も商談可能。消費財・産業財いずれも商社よりはメーカーとの直接の商談を希望する。なお、販路は当社の商流を活かせるインド国内のみを想定。

■ 共同開発・技術提携

上記の製品販売にあたり、将来的に現地製造・加工を希望される場合も相談可能。例えば中国からの製造拠点のシフトをテーマに商談できるかもしれない。メンテナンスやアフターサービス機能もグループとして有している。



当社で製造する金属ピン

BIN054

テクニカル・アソシエイツ

Technical Associates Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ラクナウ（ウッタル・プラデーシュ州）
 [他事務所] デリー、ムンバイ、ベンガルール等
 [HP] <https://www.techasso.com>



変電所、超高压変圧器



鉄道用、変圧・送電システム

- 設立年 : 1988年
- 資本金 : 5458万円
- 従業員数 : 500名
- 売上高 : 121億8000万円
- 事業内容 : 各種変圧器製造、販売
- 主要製品 : 各種変圧器
- 取引先 : 電力会社、各種産業の製造メーカー、インド国鉄
- 国際認証 : ISO9001、IEC60076
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はインド有数の変圧器メーカーで、各種電力用から電力会社の超高压用まで幅広く製造している。産業用では数々のOEMメーカーとなっており、電力会社向け大型・高压では500MVA、400kVまでの納入実績があり、多くの発電所、変電所に導入されインド国内の電力供給を支えている。国際電気標準会議（IEC）の各種規格も取得しており、インドのみならず、アフリカ諸国、バングラデッシュ、ネパール等周辺諸国への輸出でも実績は長い。2026年を目指してさらに大型化を目指し、765kVの超高压に対応する変圧器製造を実現する計画である。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

再生可能エネルギーや、鉄道用、データセンター、及びグリーン水素発電等の新しい用途向け特殊変圧器の開発・製造について、日本メーカーとの技術提携を通じてインド国内における様々な需要に対応したい。また、電力会社の変圧器稼働モニタリング、データ集積・分析を可能とする検査機の開発、製造を通じて、発電・変電・送電、電力供給システム全般の安定稼働を実現したい。電力供給全般にわたる異常事態発生の予見・予防に役立つ診断システムについて日本の技術導入を期待している。

■ 合弁会社の設立

上記にも関連するが、再生可能エネルギーや鉄道（高速鉄道）に特化した、スコット結線変圧器、分路リアクトル（シャントリアクトル）については、インド国内で喫緊の大きな需要がある。残念ながら当社単独では製造が難しく、何等かの形（合弁会社形式にはこだわらない）で日本の技術指導・技術導入にて同上製品を上市したい。日本はスコット結線変圧器で最高の技術レベルにあって、是非日本メーカーのパートナーとなり、コスト競争力を生かして、国内需要にこたえたい。

BIN055

WTT インターナショナル

WTT INTERNATIONAL PVT LTD

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ティルプール
 [他事務所] ラジャスタン
 [HP] <https://www.wttint.com/>



排水処理プラント

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 100万円
- 従業員数 : 65名
- 売上高 : 5億5000万円
- 事業内容 : 水処理サービス業
- 主要製品 : 排水処理プラント、ROプラント
- 取引先 : 繊維メーカー、製薬メーカー、食品メーカー
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : -

【会社概要】

低コストで高い回収率を実現するZLD(ゼロ液体排出技術)の分野で16年の豊富な経験を持つ先駆者であり、インドにおける最も有望な水処理のサービスプロバイダーとしての地位を確立している。工業用プロセス水処理は環境規制や企業方針に準拠するため、特別な配慮を必要とするが、当社は経験豊富な専門家と革新的な若い頭脳を擁し、最先端の技術で顧客のニーズに基づくカスタム設計と、計画されたプロセス方法を実行することで業界で最も先進的で高性能、効率的で経済的な水処理プラントを構築している。将来的にはインド国内のみならず、海外での事業展開を目論んでいる。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本の排水処理プラント関連事業者との合併会社設立を前提とした商談を希望している。現在 政府入札への参加に課題を抱えているが、設立を目指す合併企業は入札への参加と、それ以外にも新たな業界への参入機会の探索に貢献すると考えている。合併事業の範囲は研究開発から事業運営、新規事業開発まで幅広く検討可能である。当社との協業を検討頂く日本企業には、プロジェクト実装の共同事業者、及び新規事業開発パートナーとしての役割を期待している。

■ 共同開発・技術提携

製品の生産プロセスに水を消費するあらゆる製造業者をターゲットとした共同開発・技術提携を想定している。当社が抱える製造プロセスにおける課題、具体的にはプロジェクトの最終品質の向上、タイムラインに準拠した組織的な作業と時間管理の導入、自動化促進等の分野でノウハウを持つ日本企業との協業を望んでいる。当社と協業する日本企業には、短期的な協業ではなく、少なくとも3年から5年以上の中長期にわたる関係構築を希望している。



特許取得済み逆浸透技術

BIN056

スイッチ・モビリティ・オートモーティブ

Switch Mobility Automotive Limited.

[参加予定者] 取締役
 [本社] チェンナイ (タミル・ナードゥ州)
 [他事務所] 英国
 [HP] <https://www.switchmobilityev.com/>



電動バス

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 102億3400万円
- 従業員数 : 360名
- 売上高 : 72億5200円
- 事業内容 : 電気自動車の開発、設計、製造メーカー
- 主要製品 : 電動バス、電動小型商用車
- 取引先 : 政府関係、一般企業他
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドの大手企業である Ashok Leyland社のエンジニアリング部門と英国のバス製造業者 Optare社との戦略的コラボレーションから生まれた電気バスおよび小型商用車の世界的な製造メーカーである。2014年にOptare名で、英国製の初の完全電気バスをロンドンに初導入して以降、950台を超える電気バス(EV)を配備し、世界中で1億2000万キロメートルを超える走行距離を実走している。当社の幅広いバス製品ラインナップは、都市、都市間、空港の輸送ニーズに対応するように設計されており、持続可能性と効率性に重点を置いている。また当社は車両製造だけでなく、24時間365日の車両監視と走行データ分析を通じて各種ソリューションの提供を行っている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

電気自動車向けの最新技術を持つ各種製品を積極的に調達、採用することを検討している。特にリチウムイオン電池を始めとする電動化の性能向上に寄与するエレクトロニクス関連技術や製品、システムの導入に高い関心を持っている。また今後益々拡大が予想されるコネクテッド分野の関連技術や製品についても幅広く議論したい。当社の電動バスや小型商用車は市場導入して10年が経過し実績を有していることから、当社と組むパートナーとなる日本企業には事業拡大の機会提供についてご理解いただけると確信している。

■ 共同開発・技術提携

電気自動車の開発にあたり、関連する幅広い製品へのアクセスやコスト削減、また開発期間の短縮、さらには現地市場の要件に合わせたカスタマイズ能力といった分野に課題を抱えていることから、今回日本企業との協業によりこれらの課題を解決したいと考えている。優先度としては特にモーター、制御ユニット、パワーエレクトロニクス関連が高いが、この他 車両のR&Dや製造工程のプロセスエンジニアリングといった分野でも協業を望んでいる。



電動小型商用車 (LCV)

BIN057

プラバ・エンジニアリング

Prabha Engineering Pvt.Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://Prabha-engg.com/>



Wiper Motor

- 設立年 : 1958年
- 資本金 : 400百万円
- 従業員数 : 500名
- 売上高 : 38億円
- 事業内容 : 製造販売業
- 主要製品 : 自動車用電気系部品
- 取引先 : 自動車・タイヤメーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001、16949
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は自動車メーカー向けに電気系自動車部品を製造、販売している企業にて、インド国内に3つの工場を持ち、米国に輸出実績があり、また韓国DY Autoとは技術契約を締結している。主要製品はワイパーシステム、ウォッシャーシステムにて、タタ、マヒンドラ、ダイムラーインドといった主要自動車メーカーに製品を供給している。設立後60年以上の長い歴史のなかで、卓越性、透明性、顧客中心主義、人への配慮といったコアバリューの実現により、強力な経営基盤を確立してきた。売上高の更なる拡大のために日本企業との提携を検討したい。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社は、自動車関連などの分野において、DCモーター、あるいはモーターに活用できる部品につき自社技術の向上並びに新製品開発のために、日本企業から技術供与を受けたいと考えている。技術詳細については、日本企業の意向も踏まえ、製品分野問わず話し合いたい。当社の強みはインド自動車メーカー顧客との強固な関係基盤となる。

また、上記技術供与をいただくために、日本企業との合併の設立も検討可能にて、その際出資比率については日本企業と議論のうえ取り決めたい。



Washer System

BIN058

カパロ・パワー

Caparo Power Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] グルグラム (ハリヤーナー州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.caparo.co.in/group-company/caparo-power-ltd>

36 Mw の設置容量を持つエンジンルーム

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 7億6700万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : 33億5600万円
- 事業内容 : 電力業
- 主要製品 : 発電、配電、再生エネルギー
- 取引先 : 製造業者、鉄鋼業者など
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO 45000
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、フィンランドの大手エネルギー企業 Wärtsilä の合併会社である。主要株式はCaparo Engineering Limited と Wartsila Finland が所有し、少数株式は当発電所の電力消費者が所有する。グループ自家発電モデルの先駆者で、配電網における無料のメンテナンスとサポートを備えた地下ケーブルの独自の HT ネットワークを介して、中断のない高品質の電力 (稼働率 99.67% 以上) を供給している。2010 年にグリーン フィールド プロジェクトとして 8 つの主要顧客と開業後、2012 年に稼働を開始し、良好な電力品質で需要を取り込み、拡張した。ハリヤナ州バワルの工業地にある当社施設は、ガス エンジン 4 基を備え、高品質な電力を途切れずに供給している。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

当社は、天然ガスを燃料に発電と配電を行い、専用の100%地下送電網により稼働率 99.67% 以上のクリーンで信頼性が高く途切れない電力を供給する。日本の電力、エネルギー、天然ガス、再生可能エネルギー領域の技術パートナーとの合併事業を考えている。出資する日本企業から、インドまたは第三国で新発電所建設の為に、ガスエンジン、ソーラーモジュール、ガススキッド、関連アイテム等の機械を購入することに前向きである。ガス エンジンは天然ガスとグリーン水素を燃料として作動できる必要がある。



4 基のエンジンの排気システム

BIN059

B.M.コンストロテック

B. M. Constrotech Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] アウランガーバード（マハーラーシュトラ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.bmconstructions.com>



電機メーカー工場（アウランガーバード）
 ※プロジェクト全体（設計以外）を担当

- 設立年 : 1993年
- 資本金 : 4000万円
- 従業員数 : 256名
- 売上高 : 31億9000万円
- 事業内容 : 建設業
- 主要製品 : 工場、商業施設、インフラ等の建設
- 取引先 : 重工業、自動車等の各種産業
- 国際認証 : ISO9001、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

建設の分野で40年以上の経験を持つ専門家によって1993年に設立された、産業用各種施設の建設を行う企業。インド全域にわたり、重工業、自動車、自動化機器、半導体・電機、医薬、食品・飲料等、幅広い産業分野に顧客を持つ。土木や構造建築の領域で多くの経験と必要な資格を持つ専門家（エンジニア、工事監理者）を有するとともに、十分な設備機器・工具類および人員を揃えている。顧客の期待に応じたプロジェクトの安全性・品質・コストおよび納期を最適化することを常に目指しており、真摯且つ誠意をもってプロジェクトを運営し、所定の期間内に高品質の仕事をするとの評価を得ている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

当社と同様に産業向け各種施設やインフラの建設に携わる日本企業と、インドにおける合併会社の設立についての商談を希望している。

日本において上記のような建設プロジェクトの実績と関連する土木工事、構造建築、電気・空調・防火防災設備についての技術知見を有し、インドでの合併を通じた事業展開に関心がある日本企業と、長期的な協力関係構築を念頭に議論を行いたい。日本の優れた技術を導入することにより、顧客に対してより高品質のサービスを提供できるものと期待している。



ビール工場（マイスール）
 ※インフラ整備を含む全ての施工を実施

BIN060

A2Z フィルトレーション スペシャルティーズ

A2Z FILTRATION SPECIALITIES PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 取締役
 [本社] グルグラム (ハリヤーナー州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.a2zfiltration.com/>



濾過装置製造ライン

- 設立年 : 2002年
- 資本金 : 2000万円
- 従業員数 : 543名
- 売上高 : 26億8400円
- 事業内容 : 濾過装置製造業
- 主要製品 : 濾過装置生産ライン、関連製品
- 取引先 : 濾過機器メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

濾過装置の製造ライン、試験装置、濾過器部品の設計・開発・製造メーカーである。社内には75人以上のエンジニアリング専門部隊を有し、最先端の3D設計ソフトウェアを活用して濾過装置製造ラインの設計とシミュレーションを行っている。当社は濾過装置製造において、顧客の目的に即した独自のソリューションを提供することをミッションとし、完全な顧客中心主義を徹底した製品、サービスを優れた価値と耐久性とともにグローバルに提供し続けている。現在では6大陸75か国の顧客に対し、これまでに2000台以上におよぶ製造装置の販売実績を持つに至っている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社と同事業分野に専門性を持つ日本のメーカー、商社との商談を希望している。当社が製造する産業用、家庭用の濾過装置の製造ライン、試験装置等、当社製品の更なる付加価値向上に貢献する優れた技術、品質、コスト競争力を持つ各種センサーや電子部品関連製品の購入を検討している。当社製品に対するアプリケーションを明確にした上での積極的な提案を期待している。

■ 合併会社の設立

産業オートメーションの分野に知見を持つ日本企業との合併会社設立を通じて、自社製品を共同で製造、販売、事業の新規開発を含めた事業展開を目論んでいる。将来はインド国内のみならず、周辺国、その他地域を対象に事業を拡大することも想定している。

■ 共同開発・技術提携

当社と同事業分野に専門性を持つ日本のメーカー、または産業オートメーションの分野で実績を持つ日本企業との商談を望んでいる。当社製品である濾過装置の製造ライン向けにセンサーや部品を購入するだけでなく、ターゲットとする市場性を理解し、ニーズに適合した競争力あるセンサー、電子部品、電子機器等の共同開発を望んでいる。



濾過装置製造ライン

BIN061

エレマティック インディア

Elematic India Pvt. Ltd.

[参加予定者] 取締役

[本社] デリー

[他事務所] フィンランド（本社）

[HP] <https://www.elematic.com/company/>

バッテリー用
プレキャスト金型



階段用プレキャスト
金型

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 7588万円
- 従業員数 : 90名
- 売上高 : 8億4300万円
- 事業内容 : 機械・装置製造業
- 主要製品 : プレキャストコンクリート製
造用設備・金型
- 取引先 : 建設業
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

フィンランド発のグローバル企業のインド拠点。建設業向けにプレキャスト金型や設備を提供し、100か国以上の拠点と4,000以上の設置実績を有する。主として、「フィンランド製プレキャスト機械とインド製金型の販売」、「構造設計 & BIMサービスの提供」、「プレキャスト機械設置、アフターサービス」、「プレキャスト製品製造、品質保証、現場監理」を建設業に提供。

本商談会では、日本で同様の事業を行っている企業とパートナーシップを結び、将来的な合併や事業連携の可能性について商談を希望。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

建設業者、プレキャスト製造メーカー等と、高精度の金型の製造、供給に向けた技術提携について商談を行い、インド市場へプレキャスト製品やプレキャスト金型の供給拡大を行っていきたい。当社はインド国内に2か所の金型製造拠点と3か所の設計拠点を有し、その商流やリソースを活かしたビジネス展開が可能である。また当社の製品・サービスを日本の建設や輸送インフラ向けに展開できる企業と商談できるとなお良い。

BIN062

マイラーグループ

Myraa Group

[参加予定者] 取締役

[本社] ムンバイ(マハーラーシュトラ州)

[他事務所] マダガスカル・南アフリカなど

[HP] <http://www.myraagroup.com/>

[会社概要]

Myraaグループは傘下にコンサルタント企業や人材派遣企業を持つコングロマリット。主に鉱山事業向けにSMEIP（構造、機械、電気計装および配管）事業を請負い、併せて人材コンサルティングや労働者の職業訓練、給与管理や勤怠管理などを受け持つ。グループ企業を通じて40年以上に亘りサブサハラや中東でのプロジェクトにおける人材採用実績が豊富。マダガスカルにグループ企業のMyraa Constructionがあり、建築、土木、電気、海洋、鉱山、石油・ガスなどのインフラプロジェクトに対応可能。当商談会では、アフリカでの事業拡大に向けて日本企業と人材をテーマに相互補完の関係構築について広く商談を希望。

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 30億8000万円
- 事業内容 : インフラ向け人材派遣業、人材訓練サービス提供
- 主要製品 : 人材派遣
- 取引先 : 鉱石採掘業、建設等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : あり

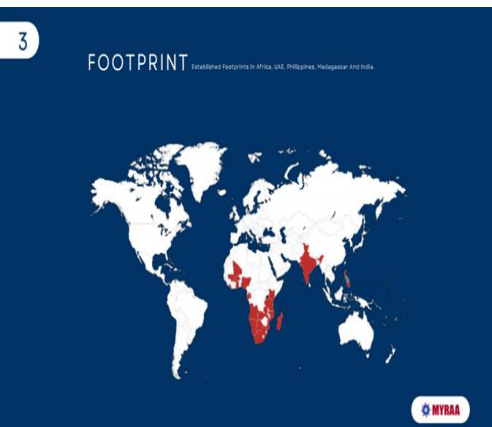
商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

インフラプロジェクトへの人材派遣を手がける日本企業と、人材の管理や人材育成トレーニング手法について提携し、今後の事業拡大に向けて商談を行っていききたい。なお、当社はアフリカ諸国やインドの鉱山採掘業、建設業、石油・ガス事業などのインフラプロジェクトに従事しており、工事請負業者、インフラ現場で用いる機械設備メーカー、システムプロバイダーなどとも相互補完できる可能性があり、国際的な事業展開について協業の可能性を検討したい。



当社ウェブサイト



当社の事業地域

BIN063

オートスキャン インディア

AutoScan India Pvt. Ltd

[参加予定者] 取締役

[本社] プネー（マハーラーシュトラ州）

[他事務所] ファリダバード

[HP] <https://www.autoscan-india.com/>

検査サービス

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 800万円
- 従業員数 : 700名
- 売上高 : 4億1000万円
- 事業内容 : 検査サービス業(自動車・建機類の品質管理、非破壊検査等)
- 主要製品 : 検査サービス
- 取引先 : 建機メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、ISO27001（申請中）
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

建設、自動車、航空宇宙業界に総合品質管理サービスを提供するサービスプロバイダー。2013年設立の後、自動車および建機産業等に向けた第三者検査、新部品開発、工程監査などのサービスに従事。あらゆる部品・製品に関する専門知識を有し、業界固有の特徴・要件を理解していることが強み。600人以上のエンジニアと検査員に対するトレーニングに力を入れており、あらゆる顧客要求に応える体制を整えている。

本商談会では、自社の強みを活かした日本企業との協業について業種を問わず広い分野で日本企業からの提案を希望。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

非破壊検査等の検査サービス事業において、高度な検査技術を有する日本企業と連携し、効率的かつ効果的な検査工程や、検査員トレーニング手法の構築に向けて商談を実施したい。商談する企業の業者や規模は問わず、製造業向けの検査・非破壊検査サービス事業者、検査機器メーカーや商社、検査システムを構築するプロバイダー等との商談を想定。将来的には独自の検査機器やシステムを導入したインド現地での合併会社設立に向けても商談可能である。



人材育成